

1. まず知っておきたいこと

(1) GIGA スクール構想とは

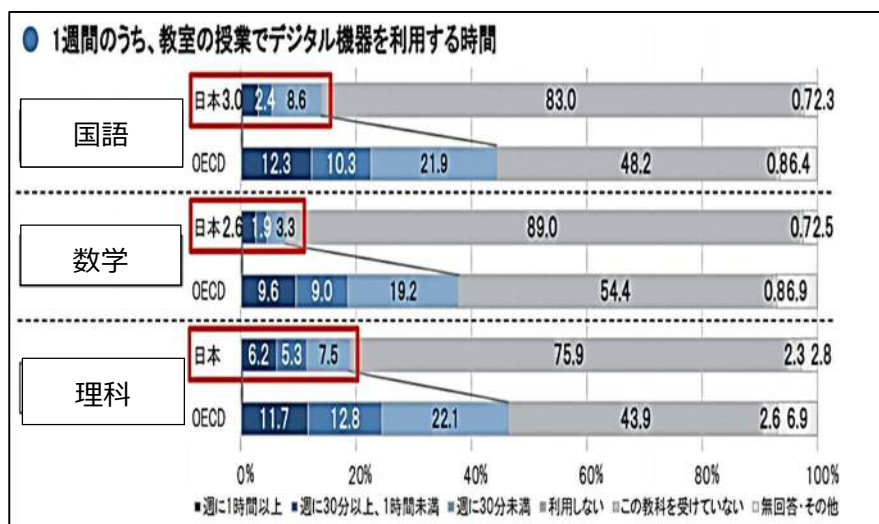
GIGA スクール構想とは、「Global and Innovation Gateway for All」の略で、Society5.0 時代に生きる子どもたちの未来を見据え、義務教育課程 1 人 1 台分の端末（PC やタブレット）及び市立学校の高容量の通信ネットワーク（校内無線 LAN）を一体的に整備することで、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現していこうとする取組です。令和元年 12 月、文部科学省より打ち出されました。

GIGA
スクール構想
プロモーション動画

GIGA
スクール構想
文部科学省リーフレット



学校の授業で ICT を使う割合は、OECD 加盟国中最下位！



文部科学省リーフレット OECD 生徒の学習到達度調査（PISA2018）「ICT 活用調査」より

日本は諸外国に比べて学習に ICT を活用していないということが、OECD 生徒の学習到達度調査（PISA2018）「ICT 活用調査」で明らかになりました。予測困難な時代を自律的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくために、令和の時代における学校にとって 1 人 1 台端末環境は「スタンダード」であるとして、GIGA スクール構想が打ち出されました。

新学習指導要領には、情報活用能力が「学習の基盤とな

る資質・能力」に位置付けられ、学校の ICT 環境整備と ICT を活用した学習活動の充実が明記されました。小・中・高等学校を通じたプログラミング教育の充実も示されています。

学校の ICT 環境が、劇的に変わります



GIGA スクール構想によって、学校の ICT 環境が劇的に変わります。普通教室や特別教室に高速大容量の無線 LAN 環境が整います。教師と児童生徒に 1 人 1 台分の端末が配備され、充電保管庫に収納することでいつでも使用できるようになります。

文部科学省
G I G A ス
クール構想



(2) かわさき GIGA スクール構想とは

かわさき GIGA スクール構想では、インターネットにつながる中で、個別学習でも協働学習でも一斉学習でも、クラウドによって学びを蓄積したり、双方向の学びを可能にしたりすることによって、かわさき教育プランの基本目標である「自主・自立」「共生・協働」を推進します。既習とつながる、他教科とつながる、他者とつながる・・・「つながる」をキーワードに、「情報活用能力」を基盤として、ステップ1、ステップ2、ステップ3と段階的に学びを変容させていきます。1人1台の端末を通して様々な人・もの・こととつながる中で、未来社会の創り手となる子どもたちに必要な力が育まれていくと考えます。

使用する端末は、使いやすさに合わせて、小・中学校（特別支援学級を含む）が Chromebook、特別支援学校が iPad です。どちらもクラウドサービスである G Suite for Education[※]を活用します。

川崎市は「未来社会の創り手を育む かわさき GIGA スクール構想」において、1人1台分の端末・高速ネットワークを整備し、かわさき教育プランの基本理念である「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」学びを推進します。

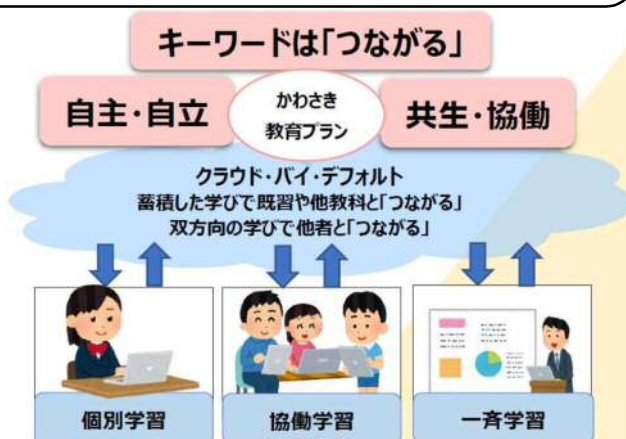
未来社会の創り手とは…

全ての人とモノがインターネットでつながり、今までにない新たな価値が生み出される Society5.0 の社会において、学習指導要領総則にも述べられている「社会構造が急速に変化し予測困難な時代であっても、多様性を原動力とし新たな価値を生み出す持続可能な社会の担い手」が「未来社会の創り手」です。「かわさき GIGA スクール構想」では、そのような未来社会の創り手を育てていきます。

児童生徒が授業で端末を使えるようになるには、学習指導要領にも示された学習の基盤となる情報活用能力を初期段階のうちに指導し、育成していく必要があります。これをステップ0とします。そして、ステップ0、1、2、3と学びの質を高めていきます。また、学びの質が高まることで、学習の基盤となる情報活用能力もさらに育成できます。

ステップ1は令和3年度を想定しています。インターネットにつながることで、いつでも、どの教科でも使えることを実感する段階です。ステップ2は令和4年度を想定しています。1人1台端末によって既習や他者とつながることで、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ができ、資質・能力をより確実に育成する段階です。ステップ3は令和5年度を想定しています。各教科等の学びが、他教科等や生活につながることで、社会にある様々な課題の解決や一人一人の夢の実現に活かす段階です。かわさき教育プランの基本目標である「自主・自立」、「共生・協働」にもつながっていきます。

また、1人1台端末・高速大容量のネットワークは、授業だけでなく、校務や研修等にも活用でき、業務の効率化にもつながります。



[※] 令和3年度から Google Workspace for Education に名称変更（本冊子は G Suite for Education で表記）

未来社会の創り手を育む
かわさきの新しい教育
かわさき
GIGA スクール構想

ステップ1は令和3年度、ステップ2は令和4年度、ステップ3は令和5年度を想定していますが、各学校の実態に合わせて想定年度を越えて推進していただいても構いません。

R5

ステップ3 各教科等の学びが、他教科等や生活につながることで、社会課題の解決や一人一人の夢の実現に活かす

各教科等での学びをつなぎ、探究し、課題を解決できる

様々な人と共に学び合い、社会課題を解決する中で、自分自身について考える

自主・自立



端末を主体的に活用し、クラウド上にある各教科等の様々な学びを振り返り、それをつなげながら、様々な社会課題を解決する。

共生・協働



端末を通して他校の友達、地域の人、外国人等様々な人々とつながり、考えを尊重し合い、社会課題を共に解決する中で、自分自身の在り方や生き方について考える。

R4

ステップ2 既習や他者とつながることで、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ができ、資質・能力をより確実に育成する

主

クラウドに蓄積した自らの学習状況を振り返り、見通しをもったり、次の学習につなげたりする。

対

クラウドを通して、子ども同士の対話が活性化し、教職員や地域の人、先哲との対話が容易になり、自らの考えを広げ深める。

深

クラウドに蓄積した学びをもとに知識を相互に関係付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したりする。

即時的に見取り、形成的評価ができる

モニタリング機能により一人一人の考えを即時的に見取り、形成的評価ができる。また、クラウド上で教科、単元、日付ごとに整理された子どもの学びや評価したことを振り返って、総括的評価や授業改善に役立てられる。

例えば…

外国語

発表の様子を録音し、再生して確認することで、自分の発話を客観的に振り返り次の学習における見通しや目標設定をする。

美術

制作の過程で作品を共有し、感じたことや考えたことを伝え合い、考えを深め、さらに自分の作品をよりよくしようと試行錯誤する。

理科

観察、実験を動画等で記録することで、繰り返したり拡大したりしながら、現象を科学的に分析し、既習や他者の記録や考えと比較して、考察を深める。

R3

ステップ1 インターネットにつながることで、“いつでも”“どの教科でも”使えることを実感する

検索サイトを活用した調べ学習ができる



Google の検索サイトでインターネット検索し、新聞記事や動画等を収集・整理する。情報はクラウドに保存し、いつでも必要なとき取り出せる。

文章やプレゼンテーションの作成ができる



ドキュメントで自分自身の考えをまとめたり、スライドでプレゼンテーションを作成したりする。共同編集し、リアルタイムで考えを共有しながら学び合う。

一斉学習の場面でも双方向の学びができる



イメージがもちやすくなるようデジタル教材を提示する。(大型テレビだけでなく個々の端末にも提示) 授業支援コンテンツで一人一人の反応や考えを即時に把握しながら、双方向に授業を進める。

自分のペースに応じた個別学習ができる



ドリルコンテンツを活用し個別学習をする。即時に採点されるので、自分のペースで学習でき、先生は進捗状況を確認することができる。多様な子どもたちに対してよりきめ細やかな対応を行う。

いつでもどこでも学ぶことができる



臨時休業中のオンライン指導によって学習保障や子どもたち一人一人の健康状態の把握、心のケアを行う。

ステップ0

タイピング等の初期段階の指導

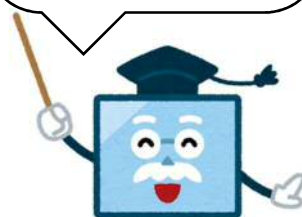
学習の基盤となる情報活用能力

(3) 令和3年度はここまで使ってみよう

1. 授業で端末を使う目安

小学校		中学校
1日に1回（朝学活を含めて）端末を使ってみましょう。	4・5月	1日に1回（朝学活を含めて）端末を使ってみましょう。
授業で1日1回端末を使ってみましょう。	6・7月	各教科1単元で2割、端末を使ってみましょう。
端末を使ってこれまでの学習を振り返ってみましょう。	8月	端末を使ってこれまでの学習を振り返ってみましょう。
朝学活や授業で、できるだけ端末を使って取り組んでみましょう。	9月～	朝学活や授業で、できるだけ端末を使って取り組んでみましょう。

各学校の実態に合わせて取組の目安を考えてみましょう。週案に位置付けて意識的に取り組むこともおススメです。



2. 「かわさき GIGA スクール構想の1日」小学校の例（令和3年度）

朝、登校したら…充電保管庫から端末を取り出してログイン。

Classroomで先生や係からの連絡がないかチェック。



先生から連絡だ。

朝学習…

火・木…キーボード練習

「今日は体育が2時間目に変更になったから、着替えを済ませておいて」



次のキーボード練習サイトがお気に入り登録されています。

・キーボー島アドベンチャー ・Pプラス ・寿司打

水・金…ミライシードのドリルパーク

使わないときはバッグに入れて机の横にかけておくよ。

授業…1日1回授業で活用

1時間目 理科

見つけた春の自然の様子を写真に撮って、オクリンクでみんなに送ったよ。

2時間目 体育

走り幅跳びの様子を友達に撮影してもらって、跳び方をチェックしたよ。

休み時間

新聞系の友達とクラスのみんなへのアンケートをフォームで作ったよ。



下校前に…端末を充電保管庫に収納。

お疲れ様。また明日ね。

3. 校務でも端末を使用してみよう

- 学校アンケートをフォームで作成し、保護者に取り組んでもらいましょう。
- 学校説明会等の動画を作成し、YouTube にアップしてみよう。



内容の確認や管理職の許可を忘れずに！

(4) 学習の基盤となる情報活用能力について

「情報活用能力」は、世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力です。学習指導要領では以下のように示しています。



小・中・高校・特別支援学校共通のポイント（総則）

➤ 情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け

児童生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む）等の学習の基盤となる資質・能力を育成するため、各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとするを明記。【総則】

➤ 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実に配慮

情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実に配慮することを明記。【総則】

小・中・高等学校別のポイント（総則及び各教科等）

➤ 小学校においては、文字入力など基本的な操作を習得、新たにプログラミング的思考を育成

各教科等の特質に応じて、児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動や、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施することを明記。【総則】

➤ 中学校においては、技術・家庭科（技術分野）においてプログラミング、情報セキュリティに関する内容を充実

「計測・制御のプログラミング」に加え、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」等について学ぶ。【技術・家庭科（技術分野）】

➤ 高等学校においては、情報科において共通必修修科目「情報Ⅰ」を新設し、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学習

「情報Ⅰ」に加え、選択科目「情報Ⅱ」を開設。「情報Ⅰ」において培った基礎の上に、情報システムや多様なデータを適切かつ効果的に活用し、あるいはコンテンツを創造する力を育成。【情報科】

(5)-1 情報活用能力チェックリスト

情報活用能力は、資質・能力の3つの柱に沿って次のように整理されています。

知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	制度やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏うちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること ・情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 ・情報と情報技術を活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解 ・情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
思考力・判断力・表現力等 (理解していること・できることをどう使うか)	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること ・様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 (相手や状況に応じて情報を適切に発信したり、発信者の意図を理解したりすることも含む) ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだしたり、自分の考えを深めたりする力
学びに向かう力・人間性等 (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けていること ・情報を多面的・多角的に吟味しその価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度

情報活用能力を育成するために「チェックリスト」を活用しましょう。

川崎市では、上記のような力をもとに情報活用能力を整理し、チェックリストを作成してきました。これまでの情報活用能力チェックリストには、図書の利用等も含まれますが、今回、文部科学省「情報教育の推進等に関する調査研究」をもとに、1人1台端末の活用に限定した「情報活用能力チェックリスト GIGA2021 年度版」を作成しました。令和5年度までの中で段階的に活用できるようになっています。実態に合わせてお使いください。

《チェックリスト活用の方法》

- ①チェックリストを見て、「情報活用能力」を具体的にイメージしましょう。
- ②子どもたちにチェックリストで自己評価させ、子どもたちの実態を把握しましょう。
- ③子どもたちの実態をもとに、「GIGA スクール構想推進計画シート」で、今年度の育てたい力の重点を決めましょう。
- ④チェック項目に合わせた学習場面を考えましょう。
- ⑤年度の間や終わりに子どもたちに自己評価をさせ、付けさせたい力が育成できているか、振り返りましょう。



(5)-2 情報活用能力チェックリスト GIGA2021年度版

第1 第2カテゴリ	第3カテゴリ	ステップ0		ステップ1				
		令和3年度	低学年	中学年	高学年	中学生		
		令和4年度	低学年		中学年	高学年		
		令和5年度以降	低学年		中学年			
知識・技能	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	情報技術に関する技能	①	キーボードでIDとパスワードを入力して、ログインすることができる。	①	ローマ字入力で短い文章の入力ができる。(1分間40字以上)		
			②	GIGA端末で、写真や動画をとって見ることができる。	②	GIGA端末で写真や動画を撮り、それをスライドやミライシードを使って友達に伝えることができる。		
			③	ジャムボードで図形をかき、そこに色をつけることができる。	③	スプレッドシートを使って、表を作ることができる。		
		情報と情報技術の特性の理解 記号の組み合わせ方の理解	④	GIGAたんまつやゲーム機などがインターネットにつながることを知っている。	④	身の回りの生活の中でコンピュータが使われていることを知っている。		
			⑤	やり方を①、②と順序だてて説明することができる。	⑤	プログラムをつくって、プログラミングを楽しむことができる。		
	問題解決・探究における情報活用方法の理解	情報収集、整理、分析、表現、発信の理解	⑥	知りたいことを本やインターネットで調べることができる。	⑥	インターネットで知りたいことを、キーワードの組み合わせを考えて、調べることができる。		
			⑦	ミライシードでつくったものを先生に提出することができる。	⑦	1つの画面に図や写真を入れた作品を、ミライシードやスライドを使って作り、友達や先生に送ることができる。		
		情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解	⑧	たくさんの友達の意見をj知ることjで、理解が深まることを知っている。	⑧	同じところや違うところを比べると、たくさんのことに気付くことができることを知っている。		
	情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	情報技術の役割・影響の理解			⑨	人をだまそうとする情報や、よくないホームページを見つけたとき、大人に相談できる。		
					⑩	新聞・テレビなどのニュースの記事や写真は、伝える側の思いや考えがあることを知っている。		
		情報モラル・情報セキュリティの理解	⑨	他の人がかいたものやつくったものや情報は大切にし、勝手に使ってはいけないことを知っている。	⑪	自分の文章の中に、他の人の言葉や文章を引用する部分を「」でくくって書いている。		
⑩			人の写真を、勝手にとってはいけないことを知っている。	⑫	人の写真を撮る時や他の人の作ったものや情報を使うときには、その人の許可をとっている。			
⑪			ID(ユーザー名)やパスワードが大切であることを知っている。	⑬	個人情報やID(ユーザー名)、パスワードが大切であることを知っている。			
思考力・判断力・表現力等	問題解決・探究における情報活用方法の理解 探究における情報を活用する力 (プログラミjグ的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)	①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ②新たな意味や価値を創造する力 ③受け手の状況を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力	⑫	人の話をよく聞いて、質問や感想を言うことができる。	⑭	話を聞きながら、大事だと思うことをメモすることができる。		
					⑮	2つのものやことと同じところや違うところを比べて、問題を見付けることができる。		
					⑯	調べたことを同じ種類や仲間に分け、表やグラフ、「考えるための技法(思考ツール等)」に整理することができる。		
					⑰	表やグラフの示していることを読み取ることができる。		
					⑱	集めた情報(ホームページもふくめ)から必要なものを選んでまとめることができる。		
					⑲	相手に伝わるように、声の大きさに気をつけたり、間を取ったりしながら話すことができる。		
					⑳	相手に伝わるように理由や例などを挙げて話すことができる。		
					㉑	調べたことを写真や図を用いてスライドをつくり、それを見せながら発表をすることができる。		
							㉒	課題に対していろいろな方法で情報を探そうにしている。
					⑳	知りたいことは、なるべく自分の力で調べるようにしている。	㉓	集めた情報をまとめて、発表するなどの活動をふり返り、次にいかそうとしている。
学びに向かう力・人間性等	問題解決・探究における情報活用態度	試行錯誤し、計画や改善しようとする態度	⑰	自分の個人情報(名前・電話番号・住所・ID/パスワードなど)を知らない人に教えないようにしている。	⑳	自分や他の人の個人情報(名前・電話番号・住所・ID/パスワードなど)を知らない人に教えないようにしている。		
		責任をもって適切に情報を扱おうとする態度	⑱	先生の話を聞く時はGIGA端末を触らないなどのGIGA端末を使う時のルールを守って使っている。	㉕	SNSなどでメッセージや画像・動画を送るときには、誰が見るか、その内容が適切かどうかなど考えるようにしている。		
	情報社会に参画しようとする態度	⑱	GIGA端末を大切に使い、終わったら充電保管庫に入れて充電をしている。	㉖	調べてまとめたり、発表したりする学習では、GIGA端末を活用するようにしている。			

GIGA スクール構想に伴い、文部科学省「情報活用能力の体系表例」（令和元年版）を基に、2017 年度版を改訂し、教師と児童生徒が意識できるようなチェックリストを作りました。令和 5 年度まで段階的に情報活用能力を身に付けていくようにします。

	ステップ 2		ステップ 3	
	高学年	中学生	高学年	中学生
①	ローマ字入力で長い文章を正確に打つことができる。（1 分間 50 字以上）		①	ローマ字入力で日本語とアルファベットが混ざった文章を打つことができる。（1 分間 60 字以上）
②	デジタルカメラや GIGA 端末等で撮影した画像や動画を必要に応じて編集することができる。		②	GIGA 端末で写真や動画を撮り文字をつけて編集し、スライドやミラシードを使って伝えたりドキュメントの資料に貼ったりできる。
③	スプレッドシートを使って、適切な表やグラフ（目盛りやグラフの種類など）を作ることができる。		③	ドキュメントやスプレッドシート等で友達と協働して学習をし、マイドライブにデータを整理して保存することができる。
④	コンピュータによって自動化されて、生活が便利になったものを知っている。		④	クラウドをはじめ、情報ネットワークの利用によって社会が便利になっていることを知っている。
⑤	課題を解決するためにその手順をフローチャート等に図示して、簡単なプログラムを作ることができる。		⑤	課題を解決するためにプログラムを使って自分の意図する動きを実現する命令を複数考え、それぞれのよさを比べて選択する。
⑥	知りたいことをキーワードを組み合わせてたり、検索サービスを選んだりして調べることができる。		⑥	知りたいことを、本やインターネットなど複数の方法で調べ、比べて、必要な情報を判断することができる。
⑦	写真や図や文章のレイアウトを考え、見やすさを考えたスライドを作ることができる。		⑦	話す内容に合わせて、友達と協働してスライドを作ることができる。
⑧	解決の方法を考えるときには、変える条件と変えない条件を整理することを知っている。		⑧	他者の考えと比較しながら目的や意図に応じて情報を整理することで、より妥当な結論を導き出せることを知っている。
⑨	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談できる。		⑨	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談できる。
⑩	新聞やテレビからの情報には、視点を変えることでいろいろな見方ができることを知っている。		⑩	新聞やテレビなどのメディアからの情報には、発信者の意図が含まれていることを分かった上で利用している。
⑪	自分の文章の中に、他の人の言葉や文章を引用する部分を「」でくくって書いている。		⑪	自分の文章の中で、引用する本や文、語句などを「」でくくってそのまま抜き出して書き、参考にした資料を参考文献として必要事項を明記することができる。
⑫	人の写真を撮る時や他の人の作ったものや情報を使うときには、その人の許可をとっている。		⑫	SNS 等に人の写真や文章等をあげる（アップロードする）時には、肖像権・著作権に気をつけることができる。
⑬	情報を発信するときには、その情報が残ったり、広がったりする危険性があることを理解している。		⑬	情報を発信するときには、その情報が残ったり、広がったりする危険性があることを理解している。
⑭	個人情報や ID（ユーザー名）、パスワードは大切であることが分かり、自分で安全に管理している。		⑭	パスワードは自分の誕生日などではなく、他の人が分からないようなものに設定して管理する必要があることを知っている。
⑮	話し手の言いたいことを考えて聞き、大事だと思うことをメモを取ることができる。		⑮	必要に応じて、記録したり質問したりしながら話す人の言いたいことをとらえることができる。
⑯	見いだした問題に対して、解決の方法を考えることができる。		⑯	見いだした問題に対して、多面的に調べ、目的や意図に応じて情報を整理し、必要なものを選んでまとめることができる。
⑰	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、「考えるための技法（思考ツール等）」に整理して表すことができる。		⑰	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、「考えるための技法（思考ツール等）」に整理して新たな意味を見いだすことができる。
⑱	表やグラフから、必要な情報や数値を正確に読み取ることができる。		⑱	表やグラフから変化や傾向を読み取り、分かりやすく説明することができる。
⑲	知りたいことを複数の方法で調べ、情報（ホームページも含め）を比較し、必要なものを選んでまとめることができる。		⑲	複数のホームページから情報源の信頼性を判断し、活用することができる。
⑳	調べた情報を他の情報と比較したり他の人の意見を聞いたりしながら話し合うことができる。		⑳	グループで話し合うときに、周りの意見も聞きながら質問をし、自分の意見を述べることができる。
㉑	自分の考えが伝わるように、資料を活用するなど、表現を工夫することができる。		㉑	説明するとき等に資料や ICT 機器を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
㉒	調べたことを、表やグラフを作成したり、写真や図を用いたりして、スライド等に分かりやすくまとめて発表することができる。		㉒	情報を統合して論理立てて考え、目的や意図に応じて新聞やリーフレット、スライド等にまとめて伝えることができる。
㉓	課題に合わせていろいろな方法で情報を探し、それを比較して活用しようとしている。		㉓	複数の情報を比較して、根拠をあげて自分なりの考えを提案するようにしている。
㉔	伝えたいことが、受け手にきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方をふり返るようにしている。		㉔	伝えたいことが、受け手の状況に応じてきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方をふり返り、次に生かそうとしている。
㉕	個人情報をネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようなものにしたりしている。		㉕	個人情報をネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようなものにしたりしている。
㉖	SNS などでメッセージや画像・動画を送るときには、誰が見るか、その内容が適切かどうかなど考えるようにしている。		㉖	SNS などでメッセージや画像・動画を送るときには、誰が見るか、その内容が適切かどうかなど考え、情報社会における自分の責任や義務を踏まえ行動しようとする。
㉗	情報を調べて分析し、まとめたり発表したりする学習では、必要に応じて自分から GIGA 端末を活用するようにしている。		㉗	必要に応じて自分から GIGA 端末を適切に活用し、学習することができる。

(5)-3 情報活用能力チェックリスト ステップ0

ねん くみ ばん なまえ



あてはまっていたら、○をつけましょう。

知識・技能	1	キーボードで IDとパスワードを にゅうりょくして ログインできる。	
	2	ギガたんまつで しゃしんや どうがを とってみるができる。	
	3	ジャムボードで ずけいを かき、そこにいろを つけることができる。	
	4	ギガたんまつやゲームきが インターネットに つながることをしている。	
	5	①、②と じゅんばんんに せつめいすることができる。	
	6	しりたいことを 本やインターネットで しらべるができる。	
	7	ミライシードで つくったものを 先生に ていしゅつすることができる。	
	8	たくさんの ともだちの いけんをすると、もっとよく かんがえられることがわかる。	
	9	ほかの人が かいいたものや つくったものやじょうほうはたいせつにし、かっ てにつかっははいけないことを している。 モラル	
	10	人の しゃしんを、かってにとつては いけないことを している。 モラル	
	11	ID やパスワードが たいせつであることを している。 モラル	
思考力・判断力・表現力等	12	人のはなしを よくきいて、しつもんや かんそうを いうことができる。	
	13	あいてに つたわるように、こえのおおきさなどに きをつけながら はなす ことができる。	
	14	つたえたいことを じゅんばんんに きをつけて はっぴょうすることができる。	
	15	みせたいものを 大きなテレビに うつしてはっぴょうできる。	
学びに向かう力・人間性等	16	しりたいことは、なるべく じぶんのかで しらべるようにしている。	
	17	じぶんの こじんじょうほう（なまえ・でんわばんごう・じゅうしょ・ID/パス ワードなど）を しらない人に おしえないようにしている。 モラル	
	18	先生のはなしを きくときは ギガたんまつを さわらないなどの、ギガたん まつを つかうときのルールを まもって つかっている。 モラル	
	19	ギガたんまつを たいせつに つかい、つかいおわったら じゅうでんほかん こに 入れて じゅうでんをしている。 モラル	

モラル は「情報モラル」・「情報セキュリティ」に関わる内容

活用の目安：令和3・4年度 低学年～中学年 令和5年度以降 低学年

(5)-4 情報活用能力チェックリスト ステップ1

年 組 番 名前

数字に○をしてください。

あてはまる
少しあてはまる
あまりあてはまらない
あてはまらない

知識・技能	1	ローマ字入力で 短い文章の 入力ができる。(1分間40字以上)	4 - 3 - 2 - 1
	2	GIGA たんまつで写真や動画を取り、それをスライドやミライシードを使って友達に伝えることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	3	スプレッドシートを使って、表を作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	4	身の回りの生活の中でコンピュータが使われていることを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
	5	プログラムをつかって、プログラミングを楽しむことができる。	4 - 3 - 2 - 1
	6	インターネットで知りたいことを、キーワードの組み合わせを考えて、調べることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	7	一つの画面に図や写真を入れた作品を、ミライシードやスライドを使って作り、友達や先生に送ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	8	同じところやちがうところを比べると、たくさんのことに気づけることを 知っている。	4 - 3 - 2 - 1
	9	人をだまそうとするじょうほうや、よくないホームページを見つけたとき、大人に相談できる。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	10	新聞・テレビなどのニュースの記事や写真は、伝える側の思いや考えがあることを知っている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	11	自分の文章の中に他の人の言葉や文章を 使うぶぶんは「」でくくって書いている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	12	人の写真をとる時や ほかの人の作ったものやじょうほうを使うときには、その人のきよかをとっている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	13	こじんじょうほうや ID (ユーザー名)、パスワードが大切であることを知っている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
思考力・判断力・表現力等	14	話を聞きながら、大事だと思うことをメモすることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	15	2つのものやことと同じところやちがうところを比べて、問題を見つけることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	16	調べたことを同じしゅるいや なかまに分け、表やグラフなどに せいりすることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	17	表やグラフの示していることを読み取ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	18	集めたじょうほうから ひつようなものを えらんでまとめることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	19	相手に伝わるように、声の大きさに気をつけたり、間を取ったりしながら話すことができる。	4 - 3 - 2 - 1
	20	相手に伝わるように 理由や れいなどをあげて話すことができる。	4 - 3 - 2 - 1
21	調べたことを写真や図を用いてスライドをつくり、それを見せながら発表をすることができる。	4 - 3 - 2 - 1	
学びに向かう力・人間性等	22	かだいにたいして いろいろな方法で じょうほうをさがすようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
	23	集めたじょうほうを まとめて、発表するなどの活動をふり返り、次に生かそうとしている。	4 - 3 - 2 - 1
	24	自分や他の人の個人じょうほう (名前・電話番号・住所・ID・パスワードなど) を知らない人に教えないようにしている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	25	SNS などメッセージや画ぞう・動画を送るときには、誰が見るか、その内容がてきせつかどうかなど考えるようにしている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	26	調べてまとめたり、発表したりする学習では、GIGA 端末を活用するようにしている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1

活用の目安: 令和3年度 高学年～中学生 令和4年度 中学年から高学年 令和5年度以降 中学生

モラル は「情報モラル」・「情報セキュリティ」に関わる内容

(5)-5 情報活用能力チェックリスト ステップ2

年 組 番 名前

数字に○をしてください。

あてはまらない
あまりあてはまらない
少しあてはまる
あてはまる

知識・技能	1	ローマ字入力で長い文章を正確に打つことができる。(1分間50字以上)	4 - 3 - 2 - 1
	2	デジタルカメラや GIGA たんまつ等で撮影した画像や動画を必要に応じて編集することができる。	4 - 3 - 2 - 1
	3	スプレッドシートを使って、適切な表やグラフ(目盛りやグラフの種類など)を作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	4	コンピュータによって自動化されて、生活が便利になったものを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
	5	課題を解決するためにその手順をフローチャート等に図示して、簡単なプログラムを作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	6	知りたいことをキーワードを組み合わせたリ、検索サービスを選んだりして調べることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	7	写真や図や文章のレイアウトを考え、見やすさを考えたスライドを作ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	8	解決の方法を考えるときには、変える条件と変えない条件を整理することを知っている。	4 - 3 - 2 - 1
	9	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談できる。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	10	新聞やテレビからの情報には、視点を変えることでいろいろな見方ができることを知っている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	11	自分の文章の中に、他の人の言葉や文章を引用する部分を「」でくくって書いている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	12	人の写真を撮る時や他の人の作ったものや情報を使うときには、その人の許可をとっている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	13	情報を発信するときには、その情報が残ったり、広がったりする危険性があることを理解している。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	14	個人情報や ID(ユーザー名)、パスワードは大切であることが分かり、自分で安全に管理している。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
思考力・判断力・表現力等	15	話し手の言いたいことを考えて聞き、大事だと思うことをメモを取ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	16	見いだした問題に対して、解決の方法を考えることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	17	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、「考えるための技法(思考ツール等)」に整理して表すことができる。	4 - 3 - 2 - 1
	18	表やグラフから、必要な情報や数値を正確に読み取ることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	19	知りたいことを複数の方法で調べ、情報(ホームページも含め)を比較し、必要なものを選んでまとめることができる。	4 - 3 - 2 - 1
	20	調べた情報を他の情報と比較したり他の人の意見を聞いたりしながら話し合うことができる。	4 - 3 - 2 - 1
	21	自分の考えが伝わるように、資料を活用するなど、表現を工夫することができる。	4 - 3 - 2 - 1
	22	調べたことを、表やグラフを作成したり、写真や図を用いたりして、スライド等に分かりやすくまとめて発表することができる。	4 - 3 - 2 - 1
学びに向かう力・人間性等	23	課題に合わせていろいろな方法で情報を探し、それを比較して活用しようとしている。	4 - 3 - 2 - 1
	24	伝えたいことが、受け手にきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方を振り返るようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
	25	個人情報をネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他人にわからないようなものにしたりしている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	26	SNSなどでメッセージや画像・動画を送るときには、誰が見るか、その内容が適切かどうかなど考えるようにしている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1
	27	情報を調べて分析し、まとめたり発表したりする学習では、必要に応じて自分から GIGA たんまつを活用するようにしている。 モラル	4 - 3 - 2 - 1

活用の目安: 令和4年度 高学年~中学生 令和5年度以降 高学年

モラル は「情報モラル」・「情報セキュリティ」に関わる内容

(5)-6 情報活用能力チェックリスト ステップ3

年 組 番 名前

数字に○をしてください。

あてはまらない
あまりあてはまらない
少しあてはまる
あてはまる

知識・技能	1	ローマ字入力で日本語とアルファベットが混ざった文章を打つことができる。(1分間60字以上)	4	3	2	1
	2	GIGA 端末で写真や動画を撮り文字をつけて編集し、スライドやミライシードを使って伝えたりドキュメントの資料に貼ったりできる。	4	3	2	1
	3	ドキュメントやスプレッドシート等で友達と協働して学習をし、マイドライブにデータを整理して保存することができる。	4	3	2	1
	4	クラウドをはじめ、情報ネットワークの利用によって社会が便利になっていることを知っている。	4	3	2	1
	5	課題を解決するためにプログラムを使って自分の意図する動きを実現する命令を複数考え、それぞれのよさを比べて選択する。	4	3	2	1
	6	知りたいことを、本やインターネットなど複数の方法で調べ、比べて、必要な情報を判断することができる。	4	3	2	1
	7	話す内容に合わせて、友達と協働してスライドを作ることができる。	4	3	2	1
	8	他者の考えと比較しながら目的や意図に応じて情報を整理することで、より妥当な結論を導き出せることを知っている。	4	3	2	1
	9	悪意がある情報や、不適切・不正なサイトを見つけたときは、自分から見ないようにし、人に相談できる。	4	3	2	1
	10	新聞やテレビなどのメディアからの情報には、発信者の意図が含まれていることを分かった上で利用している。	4	3	2	1
	11	自分の文章の中で、引用する本や文、語句などを「」でくくってそのまま抜き出して書き、参考にした資料を参考文献として必要事項を明記することができる。	4	3	2	1
	12	SNS 等に人の写真や文章等をあげる(アップロードする)時には、肖像権・著作権に気をつけることができる。	4	3	2	1
	13	情報を発信するときには、その情報が残ったり、広がったりする危険性があることを理解している。	4	3	2	1
	14	パスワードは自分の誕生日などではなく、他の人が分からないようなものに設定して管理する必要があることを知っている。	4	3	2	1
思考力・判断力・表現力等	15	必要に応じて、記録したり質問したりしながら話す人の言いたいことをとらえることができる。	4	3	2	1
	16	見いだした問題に対して、多面的に調べ、目的や意図に応じて情報を整理し、必要なものを選んでまとめることができる。	4	3	2	1
	17	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフ、「考えるための技法(思考ツール等)」に整理して新たな意味を見いだすことができる。	4	3	2	1
	18	表やグラフから変化や傾向を読み取り、分かりやすく説明することができる。	4	3	2	1
	19	複数のホームページから情報源の信頼性を判断し、活用することができる。	4	3	2	1
	20	グループで話し合うときに、周りの意見も聞きながら質問をし、自分の意見を述べることができる。	4	3	2	1
	21	説明するとき等に資料や ICT 機器を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。	4	3	2	1
	22	情報を統合して論理立てて考え、目的や意図に応じて新聞やリーフレット、スライド等にまとめて伝えることができる。	4	3	2	1
学びに向かう力・人間性等	23	複数の情報を比較して、根拠をあげて自分なりの考えを提案するようにしている。	4	3	2	1
	24	伝えたいことが、受け手の状況に応じてきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方を振り返り、次にいかそうとしている。	4	3	2	1
	25	個人情報やネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようにしている。	4	3	2	1
	26	SNS などでメッセージや画像・動画を送るときには、誰が見るか、その内容が適切かどうかなど考え、情報社会における自分の責任や義務を踏まえ行動しようとする。	4	3	2	1
	27	必要に応じて自分から GIGA 端末を適切に活用し、学習することができる。	4	3	2	1

モラル は「情報モラル」・「情報セキュリティ」に関わる内容

活用の目安: 令和4年度以降 中学生

(6) GIGA スクール構想推進計画シート

校内で GIGA スクール構想を推進していくために、ステップ 0・1 にあたる令和 3 年度では、学校全体でどのような取組をしていくか、学校の実態をもとに、取組の重点を考えましょう。



第 2 次川崎市教育振興基本計画
かわさき教育プラン

国の GIGA スクール構想
かわさき GIGA スクール構想

子どもの実態
情報活用能力チェックリスト

学校教育目標

児童生徒の実態（情報活用能力）

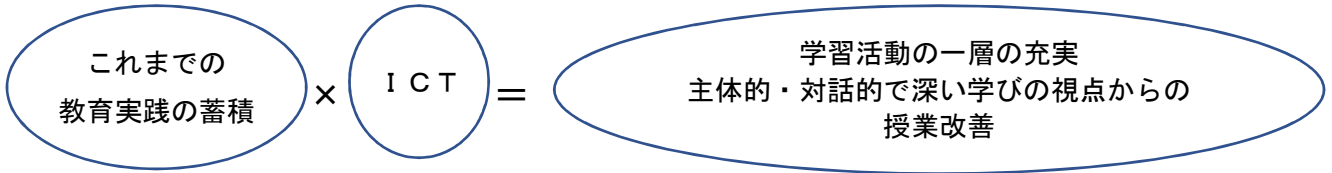
学校としてどのような力をつけていくか

今年度の重点（情報活用能力チェックリストをもとに、どのようなことができるようにするか、考えましょう。）

小学校	低学年	中学年	高学年
中学校	1年	2年	3年
知識・ 技能			
思考力・ 判断力・ 表現力 等			
学びに 向かう 力・人間 性等			

(7) 1人1台端末を活用する前に

GIGA スクール構想の目的として、「これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す」ことがあげられています。



つまり、1人1台端末の前に

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が大切です。

これまでの教育実践を「主体的・対話的で深い学び」の視点から見直してみてください。 ABC

主	子どもはねらいを理解し、見通しをもって学習することができるか。	
	子どもは自分の学びを振り返り、次の学びにつなげようとしているか。	
対	子どもは自分の考えをもって対話することができるか。	
	子どもは対話をする中で、自分の考えを広げ深めることができるか。	
深	子どもは「見方・考え方」を働かせ、学んだことを生かして考えることができるか。	
	子どもは自分の課題を見出し、学びによる自分の変容を感じることができるか。	

令和元年度「主体的・対話的で深い学び」研究会議「『主体的・対話的で深い学び』を視点とした指導と評価の在り方」2020総合教育センター

ねらいに沿って、視点を明確にした振り返りを意図的に行えていますか？ホワイトボードやICT等、教具を使用することが目的にならないよう気を付けていますか？一人一人の考えを見取るための手立てや場面を想定し、実践できていますか？子どもにつけたい力を考えて、教育活動の見通しと改善に取り組んでいますか？

そのうえで、1人1台端末を考えていきましょう。



	「1人1台端末」ではない環境	「1人1台端末」の環境
一斉学習	・教師が大型提示装置等を用いて説明し、子どもたちの興味関心意欲を高めることはできる	・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる ⇒子どもたち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に
個別学習	・全員が同時に同じ内容を学習する(一人一人の理解度に応じた学びは困難)	・各人が同時に別々の内容を学習 ・個々人の学習履歴を記録 ⇒一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能
協働学習	・意見を発表する子どもに限られる	・一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有 ・子ども同士で双方向の意見交換が容易に ⇒各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる

より充実する学習の例

調べ学習 表現・制作 遠隔教育 情報モラル教育

文部科学省「GIGAスクール構想の実現へ」2020

まず授業そのものを見直してみてください。

(8)-1 GIGA 端末使用の約束（教職員）

1. 校務用パソコンと GIGA 端末を使い分けましょう

GIGA 端末（Chromebook, iPad）は教室でも使用します。
児童生徒に見られても大丈夫な内容を扱います。
業務外で使用した場合は、使用を禁止します。

○扱ってよい内容の例	×扱ってはいけない内容の例
授業で使う教材	児童生徒の住所や電話番号
形成的評価（ドリルパークの学習状況、成果物等）	総括的評価（通知表に記載する資料等）
学年便りや学級便り	ネット販売・購入

2. GIGA 端末使用の約束を守って適切に使いましょう

GIGA 端末は川崎市があなたに貸与するものです。総合教育センター等での研修時や自宅への持ち出しも可能としますが、以下の約束を遵守する必要があります。次の文書をよく読み、サインをしてコピーを取り、管理職に提出しましょう。

GIGA スクール構想 端末利用書

学校長 様

私は端末を利用するにあたり、以下の約束を遵守し、適切に使用します。

1. 業務での使用や、私的には使用しません。
2. 個人情報や成績等、流失すると児童生徒が不利益を被る内容は取り扱いません。
3. 端末使用時は破損がないようにし、セキュリティに十分留意します。
4. 破損・紛失・盗難された場合は速やかに管理職に伝えます。紛失や故意の破損は弁償の対象となることを理解し、盗難された場合は警察にも速やかに届け出ます。
5. 約束を守れないときは、端末を返却します。

令和 年 月 日

川崎市立 学校

氏名（自署）

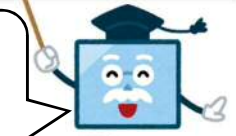
端末No.

管理職の先生は、この文書とともに教職員が端末を適切に運用できるよう管理をお願いいたします。

(8)-2 GIGA端末を使うときの約束（児童生徒）

きれいな手でしせいよく使います。

約束を守る人だけが使えるよ。
みんなで正しく使おうね。



- ①使う前には手を洗います。
- ②正しい姿勢で、画面に近付きすぎないように気を付けます。
- ③30分に一度は遠くの景色を見るなど、時々目を休ませます。



よいことに使います。

- ①相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることを絶対に書き込みません。
- ②勝手に写真をインターネットにアップしません。
- ③カメラで誰かを撮影するときは、勝手にとらず、必ず撮影する相手の許可をもらいます。

うちに帰る前に充電保管庫に戻します。

あんぜんに使います。

- ①インターネットのあやしいサイトに入ったときは、すぐに先生に知らせます。
- ②自分や他人の個人情報（名前や住所、電話番号など）はインターネット上に絶対にあげません。
- ③パスワードは人に教えません。
- ④こわれたときは、すぐに先生に知らせます。

しじにしがって使います。

- ①勝手に設定を変えたり、学習に関係のないものを取り込んだり見たりしません。
- ②先生が許可したとき以外でカメラは使いません。



たいせつに使います。

赤ちゃんをだっこする
ように持とう。

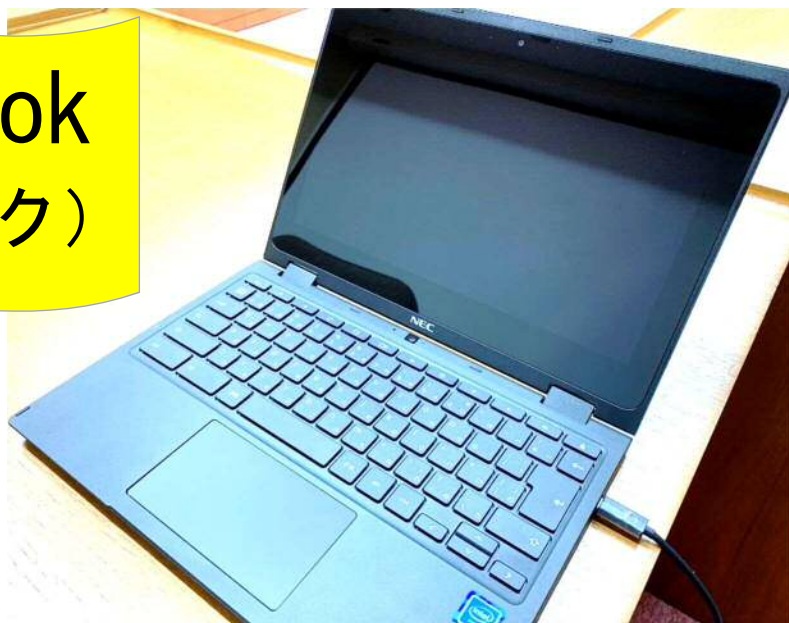
- ①なくしたり、ぬすまれたり、落として壊したり、水にぬらしたりしないように十分に気を付けます。
- ②もったまま走ったり、地面においたりしません。
- ③えんぴつやペンでふれたり、落書きしたり、じしゃくをつけたりしません。

(9)-1 端末について (小・中学校)



1. 小・中学校の1人1台の端末はChromebook

Chromebook (クロムブック)



2. Chromebook (NEC 製) の特徴

- ・軽い! (1.35kg) …この仕様では最軽量。
- ・丈夫! (ミル規格) …万が一、落下しても安心。キーボードも丈夫。
- ・INとOUTカメラ搭載! …内側外側の2つのカメラがついています。
- ・タッチパネル搭載! …感覚的な操作が可能。
- ・バッテリーが長持ち! …10時間はもちます。朝から放課後まで安心して使用可能。

安心なのじゃ!



3. Chrome OS の特徴 ※OS とはアプリ等を動かす「基本ソフト」

- ・速い! …アツという間に起動します。とにかく速い!
- ・安全! …コンピュータウイルスにも強い。万が一の時のセキュリティ対策は万全。
- ・最新! …OSは常に最新に保たれます。アップデートも頻繁!
- ・ツールが豊富! …教育用に開発されたG Suite (ジースイート) が無料で利用可能。
- ・クラウドで利用! …クラウドでほぼ全ての機能を活用。写真はローカル(端末内一時的に)保存。

「つながる」
機能が
いっぱい



(9)-2 端末について（特別支援学校）

1. 特別支援学校の1人1台の端末は iPad

iPad
(アイパッド)
第7世代



2. iPad (Apple 社製) + 衝撃吸収ケース の特徴

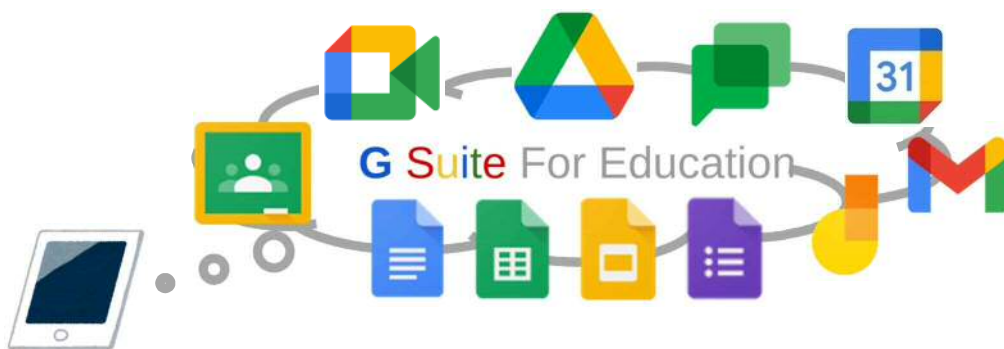
- 安心！ …個人情報保護に配慮して設計された端末を衝撃吸収素材のケースで保護。
バッテリーは最大 10 時間持続。
- 軽い！ …本体+ケースで 800g 程度、薄くて軽いデザイン。
- きれい！ …高性能のカメラ・スピーカー、美しいディスプレイ。
- 簡単！ …感度抜群のディスプレイにタッチして直感的に操作。
- パワフル！ …ビデオ編集もできるコンピュータのパワーと能力。

キーボードは
安定動作の
有線接続じゃ



3. iPad OS の特徴

- 速い！ …スリープ状態から一瞬で立ち上がります。
- 個別最適化！ …様々なニーズに対応した合理的配慮の手立てとなるアプリがたくさん！
- 高機能な標準アプリ！ …音楽制作・ビデオ編集・プレゼンテーション、ファイル管理も！
- クラウドとの連携も！ …かわさき GIGA スクール構想で活用するクラウドサービスもちろん大丈夫。



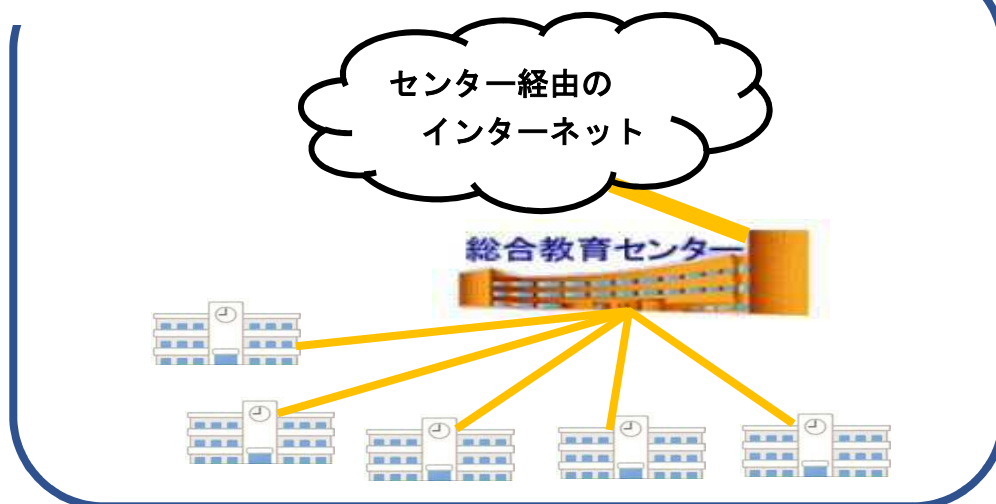
「つながる」
機能が
いっぱい！

(9)-3 校内ネットワークについて

1. GIGA スクール構想のネットワークについて

GIGA スクール構想のネットワークは、無線接続を前提にしているだけでなく、インターネット接続の方法が変わります。

今までのネットワーク



上記の図のようにこれまでの教育情報システムネットワークは、総合教育センターで集約しインターネットにつながっていました。GIGA スクール構想のネットワークは、下記の図のように各学校から直接インターネットにつながります。

GIGA ネットワーク



2. アクセスポイント (AP) の設置について

無線アクセスポイントは、普通教室、校長室、職員室、保健室及び体育館に設置し、それ以外に学校側で選択した特別教室4か所に設置しています。

3. 充電保管庫の設置について

充電保管庫の設置は教室が基本ですが、教室に設置できない場合は授業でいつでもすぐに活用できる場所に設置し、安全上固着します。また、輪番充電可能なため電源設備の弱い教室でも使用でき、翌朝には充電完了できるようタイマー設定もできます。

3. アカウント利用の注意点



注意



(1) かわさき GIGA スクール構想アカウントの利用目的は

- ・かわさき GIGA スクール構想では、「未来社会の創り手を育む」ために、1人1台分の端末及び高速大容量ネットワークを一体として整備し、かわさき教育プランの基本理念である「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」学びを推進することが目的（※詳細はP. 5参照）です。目的達成のためには、「クラウドサービス」の活用が大前提となります。その目的達成のために、教育委員会事務局ではこのたび「G Suite」ドメインを取得し、教職員及び児童生徒一人一人にアカウントを配付いたしました。

(2) かわさき GIGA スクール構想アカウント利用の注意点について



目的外利用や私的利用はできません



各種サービスの利用には、児童生徒、保護者、同僚、管理職等からの信頼を落とすことのない利用をし、責任をもつ必要があります



むやみに第三者に知らせることはできません

- ・配付された G Suite アカウントを利用した「クラウドサービス (G Suite for Education)」を利用するにあたり、「かわさき GIGA スクール構想」の目的に沿ったアカウントの利用をすることが大前提となります。具体的には、川崎市のセキュリティポリシーに従い、目的外利用や私的な利用をすることはできません。 ※G Suite アカウントは、個人が取得をした「私的なアカウント」とは違い、川崎市立学校の教育推進を目的として取得をした「公的なアカウント」です。
- ・アカウントの利用にあたっては、様々なサービスを利用できるように、例えば「インターネット検索、各種サービス」等の利用について、「児童生徒、保護者、同僚、管理職に見られたり、知られたりしても大丈夫な利用、信頼を落とすことのないよう利用をしているかどうか？」と常に自分自身で判断し、責任を持つ必要があります。
- ・教職員及び児童生徒のアカウント情報は、むやみに第三者に知らせることのないようにします。



※児童生徒のアカウント内の学習履歴等の情報は、児童生徒の人権やプライバシー尊重の観点から、発達の段階を考慮した上で、保護者であっても緊急時等を除いて自由に閲覧できないようにするなど、その運用方法について留意が必要です。



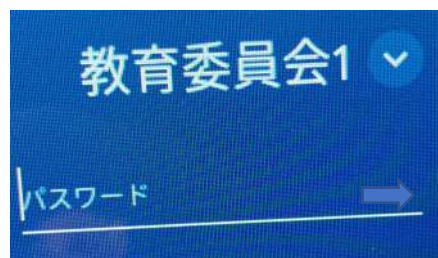
(3) アカウントの管理及び設定について

- ・G Suite アカウントは、川崎市のセキュリティポリシーに従い教育委員会事務局が管理を行います。
- ・G Suite アカウントの追加、異動、削除は、教育委員会事務局及び学校で行います。
※学校によるアカウント設定等は、今後、詳細等を連絡いたします。
- ・教職員と児童生徒の G Suite アカウントには、それぞれインターネット閲覧制限があります。

(11)-1 端末 (Chromebook) の使い方

G Suite for Education のログイン方法

端末を開くと電源が入ります

初めて使うとき		次に使うとき
		
①ID (メールアドレス) を入力	②パスワードを入力	③パスワードを入力し、→をクリック





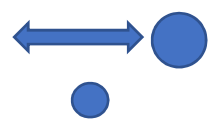
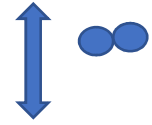

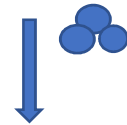
設定を変えるとき/終了するとき

ステータストレイをクリック



- ログアウト
- シャットダウン
- ロック
- Wi-Fi/LTE への接続
- 左右にドラッグして音量調節
- 左右にドラッグして画面の明るさを調節
- ステータストレイ

タッチパッドの基本的な操作

カーソル (矢印) の移動	クリック	ダブルクリック	右クリック
			
1本の指を置いて動かす	下半分をカチッと押し込む	下半分を短い間隔で2回クリック	2本の指でクリックするか、Altキー+1本指でクリック
ドラッグ&ドロップ	スクロール	2本の指でスワイプ	3本の指でスワイプ
			
クリックしたまま、動かして指を離す	2本の指を置いてそのまま上下に動かす	Web ページの移動ができる	現在開いているウィンドウを一覧で表示できる

キーボードの操作



使用できるショートカットキー 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【/】 で表示されます。
覚えておくとよいのは、スクリーンショット 【Ctrl】 + 【□||】



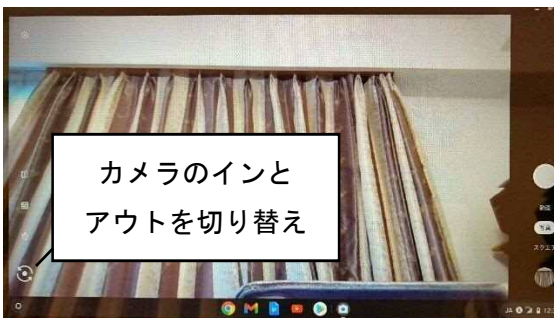
アプリの表示の仕方



写真の撮り方

設定ボタン

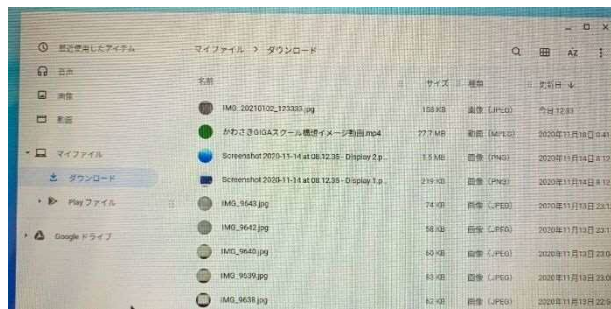
タイマーも使えます



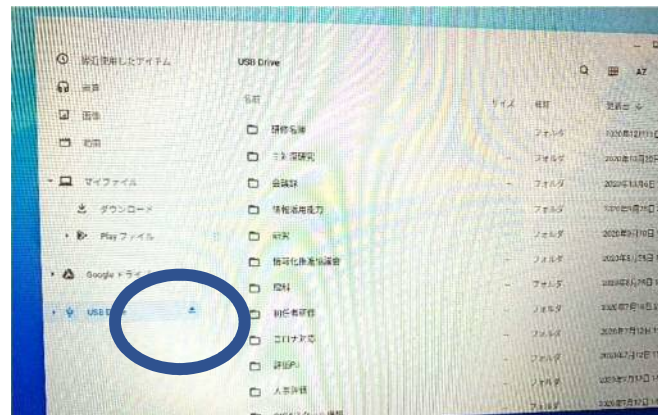
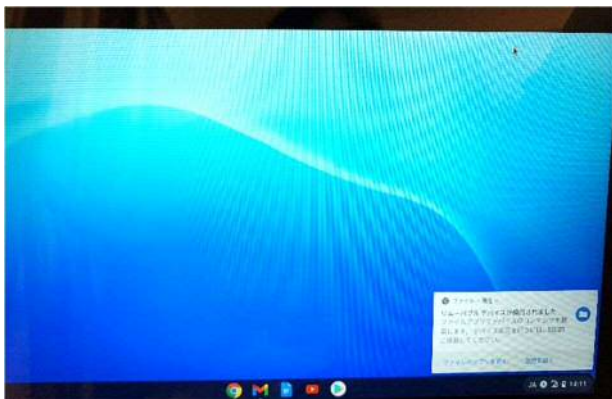
撮影ボタン

撮った写真を確認する。

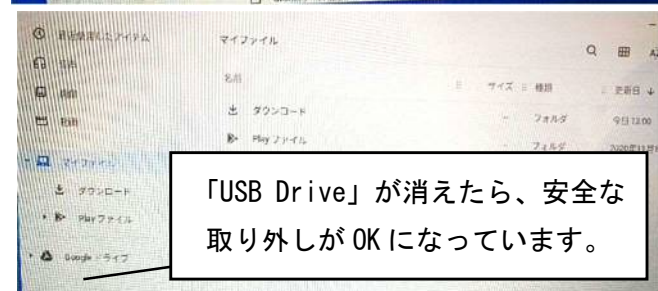
撮った写真はこのように保存されています。



導入後、当面の間は USB メモリ等が使えます



- ①USB を挿すと、「リムーバブルデバイスが検出されます」という表示が出てきます。
- ②「ファイルのアプリを開く」または、ファイルにデータがあります。
- ③終了する際には USB Drive の右の印をタップすると、安全な取り外しができます。



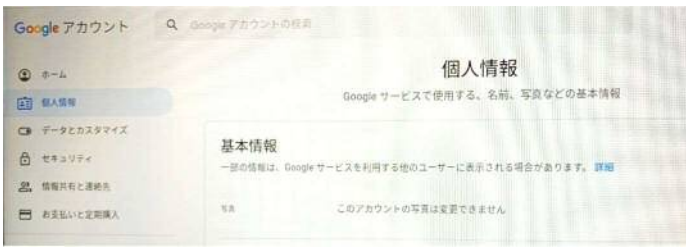
※USB メモリ等の扱いはこれまで同様、管理職の管理のもと、ルールを守って使用してください。
 ※Microsoft との互換性は 100%ではありません。

お気に入り登録してある共通アイテム

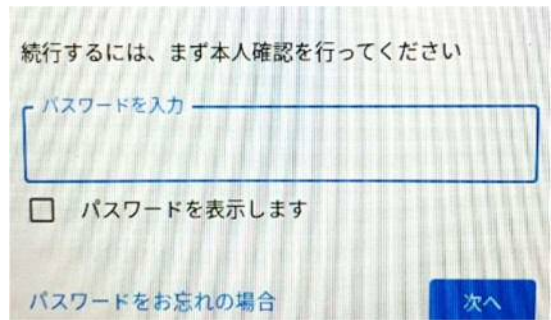
かわさき GIGA スクール構想特設ページ	かわさき GIGA スクール構想の情報がアップされています。
検索サイト Yahoo!きっず	児童用検索サイトです。
NHK for school	授業で使える動画コンテンツが豊富です。
文部科学省 学びの応援サイト	学習で使える様々なサイトが紹介されています。
P 検×マナビジョン	タイピングサイトです。
キーボー島 アドベンチャー	タイピングサイトです。
寿司打	タイピングサイトです。
ネット社会の歩き方	情報モラルのポータルサイトです。
副読本ポータルサイト	デジタルになった副読本がここに集まっています。
共生 * 共育ポータルサイト	端末で使える共生 * 共育の教材等を集めたポータルサイトです。

パスワードの変更の仕方

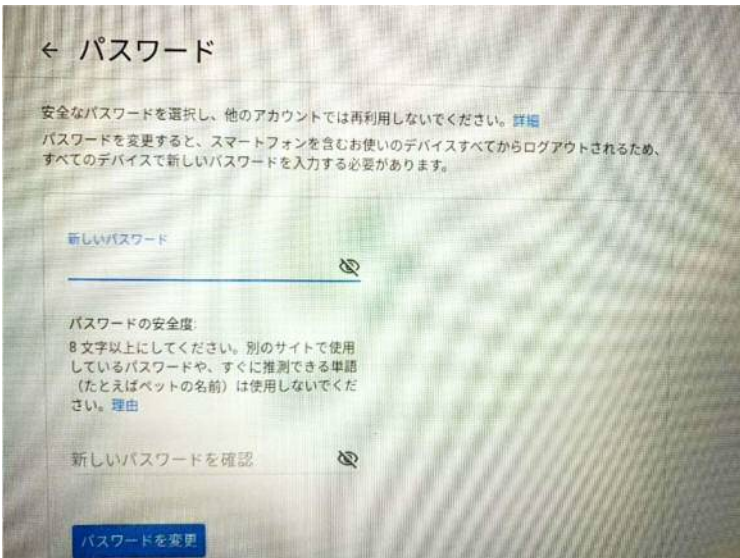
①アカウントから、個人情報を選びます。



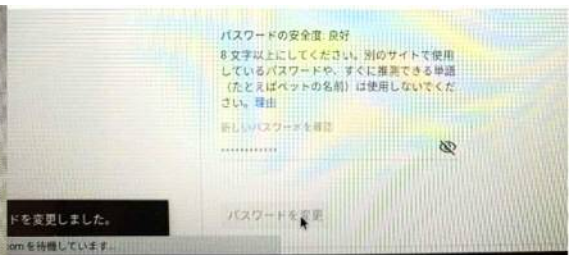
②変更前のパスワードでログインします。



③新しいパスワードを入力します。

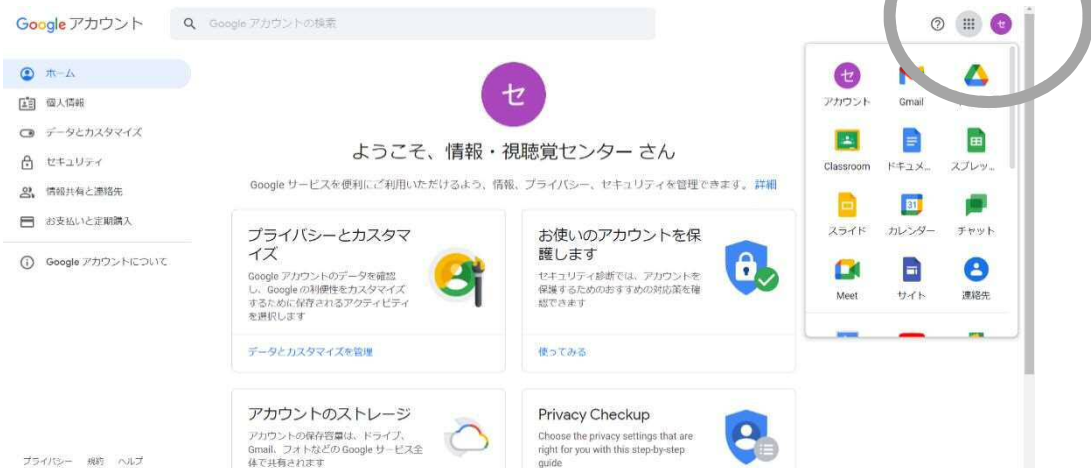


④パスワードを変更しました。と出れば OK。



新しいパスワードは、一度ログインしないと変更されません。

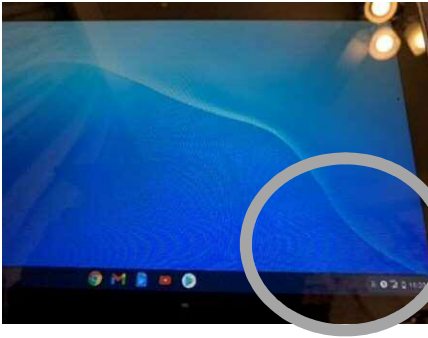
G Suite for Education 上でアプリを選ぶとき



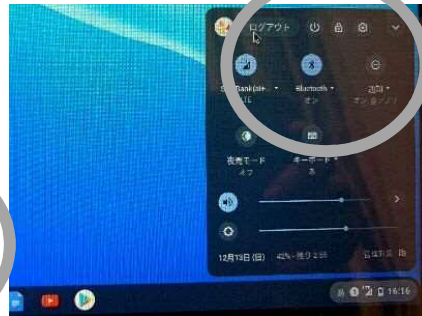
画面右上の9つの点（ランチャー）をタップすると、アプリが表示されます。

テレビにつないだとき 配付された USB Type-C のコードに接続してください。

①右下の○をタップします。



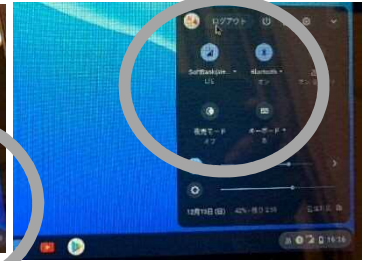
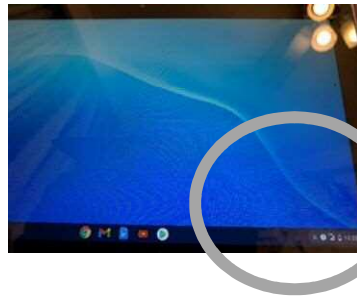
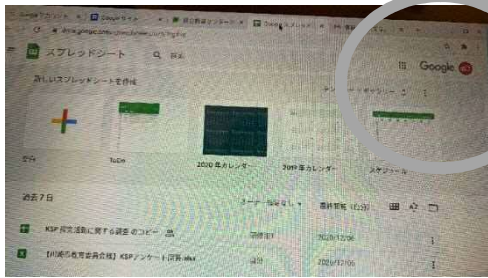
②設定をタップします。



③デバイスのディスプレイからミラーリングにチェックする。
⇒大型テレビに映ります。

ログアウトの方法

①右上の×印をタップして作業を終了します。②右下の○をタップします。③ログアウトをします。



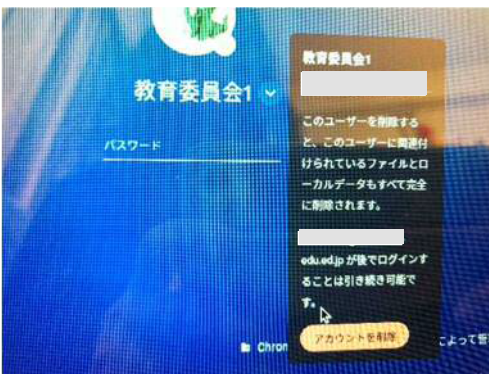
アカウントを端末から削除する

普段使わない端末でログインした場合、端末に情報が残ってしまいます。これを行ってください。

①ログアウトしたら、名前の横の下向き矢印をタップします。



②アカウントを削除の色が変わったら、もう一度タップします。

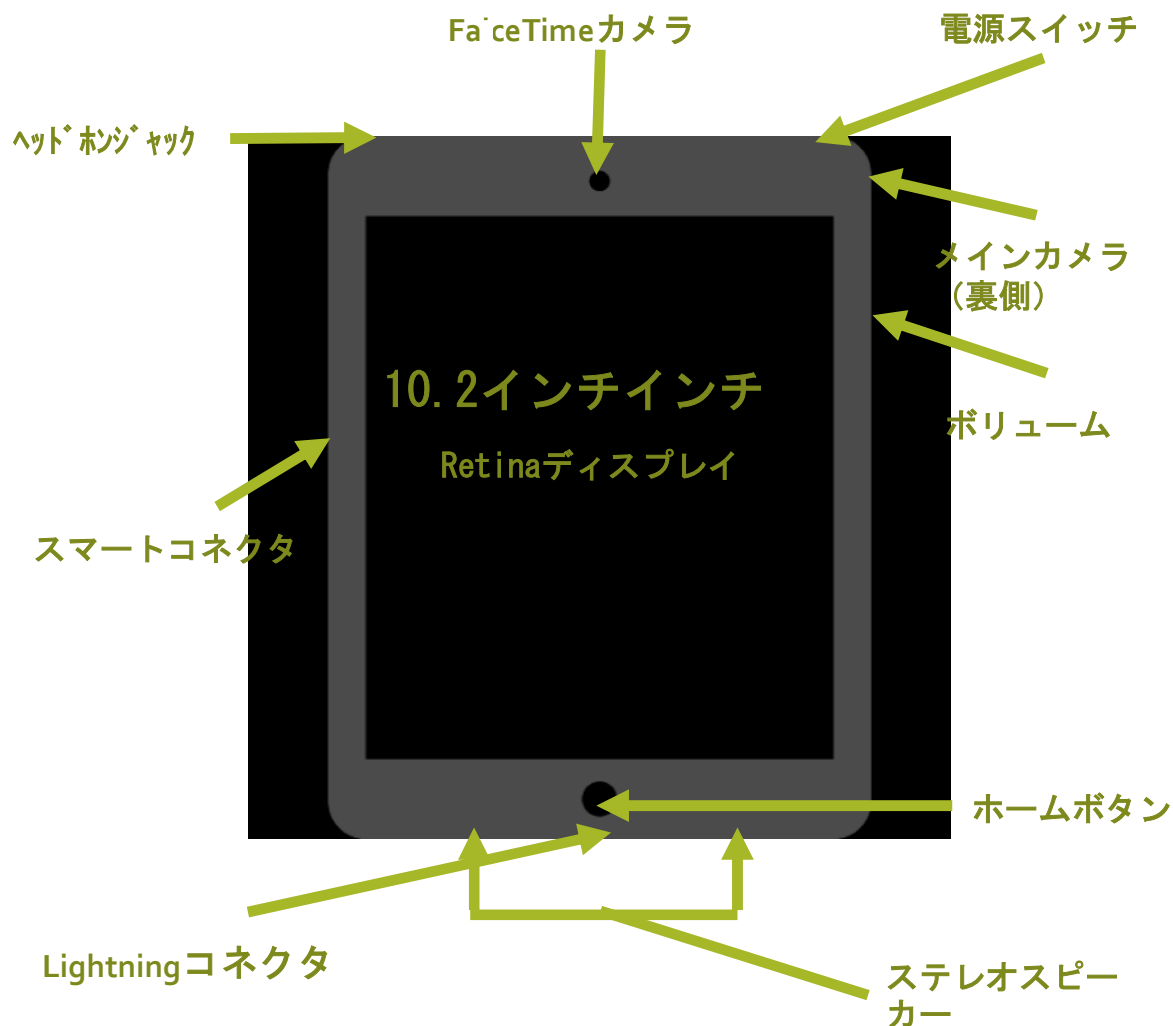


③ログアウト後、左下の終了をタップします。



(11)-2 端末 (iPad) の使い方

本体構造説明



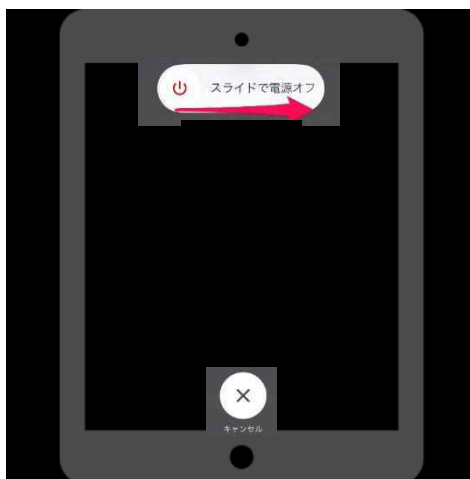
- ・容量 : 32 GB
- ・iPad (第7世代) Wi-Fi
- ・10.2インチ Retina ディスプレイ
- ・スマートコネクタ
- ・Lightning コネクタ
- ・8 MP カメラおよび FaceTime HD カメラ*
- ・Touch ID
- ・Apple Pencil (第1世代) に対応
- ・Smart Keyboard に対応
- ・重量 : 483g

1. 電源のオン・オフ（シャットダウン）

(1) 電源の完全シャットダウン

iPadを長期間使用しない場合は電源を完全にシャットダウンすることでバッテリーの消耗を軽減します。本体の電源スイッチを3秒ほど押したままにすると図のような「スライドで電源オフ」と出てきますので右にスワイプすると完全に電源がオフになります。

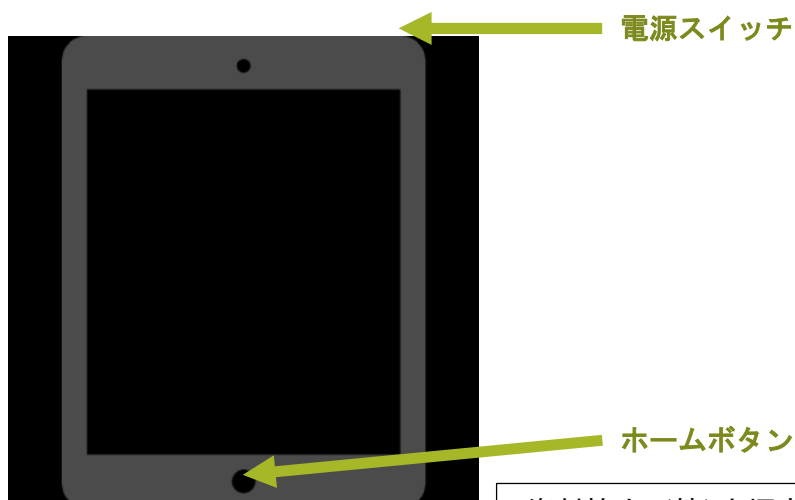
※iPadが完全にシャットダウンしているときには電源スイッチを3秒ほど長押しすると電源がオンになります。



(2) 電源のスリープ

iPadのバッテリーは非常に消耗が少なく、使用后2～3日使用しない程度であればスリープでも問題ありません。スリープは電源スイッチを軽く押下するだけでスリープ状態となります。スリープの解除は電源スイッチを軽く押下するかホームボタンを押下することで復帰します。

※iPadを完全にシャットダウンして充電すると再度電源が投入されます。そのため充電する際にはスリープにするだけで問題ありません。

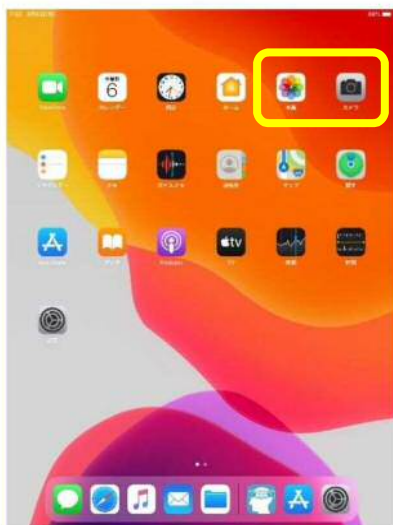


資料協力：(株)大塚商会

カメラについて

カメラの撮影モードには以下のモードがあります。

- ・カメラ： 4：3 800万画素の写真を撮影
- ・ポートレート： iPad Proではこのモードでf値を変えて人物を強調できます※
- ・スクエア： 正方形の写真を撮影
- ・タイムラプス： 一定間隔の写真を撮影して短い動画にしてくれます
- ・パノラマ： 複数の写真を合成してパノラマ写真にします
- ・ビデオ： 最大1080pHDの動画を撮影します
- ・スロー： 1080p HD/30fps、720p HD/240fpsのビデオを撮影します



カメラを起動するには「カメラ」アイコンをタップします。

カメラで撮った写真を参照する場合基本アプリの「写真」をタップします。



iPadのカメラには6つのモードがあり必要に応じて使い分けます。

タイムラプス：動画を撮影時に録画時間に合わせたの間隔でシャッターを押して撮影終了後に動画としてかき出します。この撮影では花が開く様子や星の動き、人の流れなどの撮影に適しています。

スロー：動画をスローモーションで撮影します。動きの速いスポーツや、実験などの撮影に適しています。

ビデオ：720p HD/30fpsと1080p HD/30fpsの動画を選択できます。それぞれのサイズは1分間で40MBと60MBになります。

写真：800万画素4:3の写真撮影が可能です。

スクエア：四角形の写真撮影が可能です。

パノラマ：複数枚の写真を組合わせてパノラマ画像を合成します。



カメラを起動して右側にモードを切り替える設定があるので、指で上下にスワイプしてモードを決定して撮影します。

資料提供：(株)大塚商会

※f値は被写界深度です。変更することで背景をぼかすことができます。

(12)-1 G Suite for Education の使い方 Google ドライブの使い方



かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

- 共有ドライブにフォルダをつくることはできますが、共有ドライブを作成することはできません。
- ドメイン外の人とファイルを共有することはできません。

機能 Google ドライブは、G Suite の各種ファイルだけではなく、コンピュータ端末に保存してあるファイルや画像、動画などを保管することができます。これまで Windows で作ったファイルもアップロードすれば、Chromebook で使えるようになります。容量は無制限です。

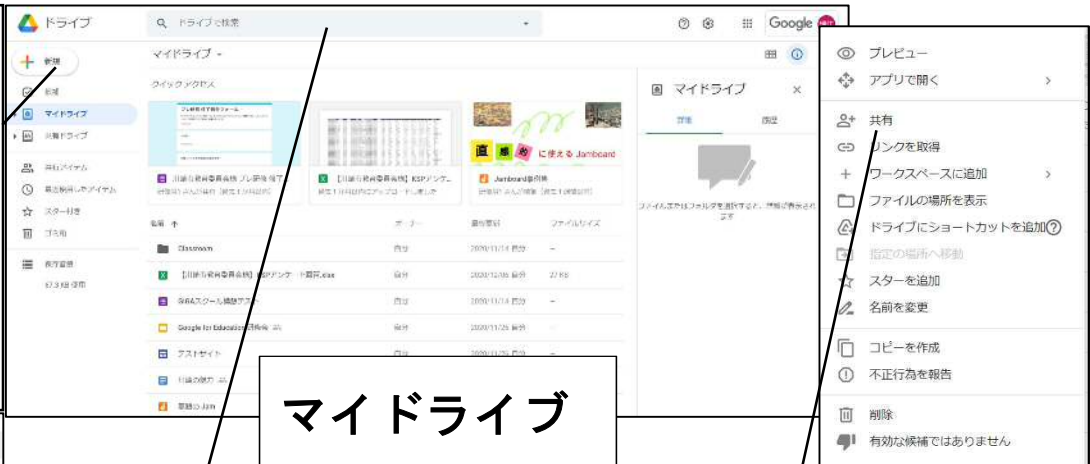
使い方動画 <https://teachercenter.withgoogle.com/gettingstarted/week1>

マイドライブ：自分に割り当てられた、ファイルやフォルダの保存領域

共有アイテム：先生や他の児童生徒から自分に対して共有されているファイルやフォルダ

共有ドライブ：チームで共有している保存領域

【+新規】をクリックすると新しいフォルダを作ったり、ファイルをアップロードしたりすることができます。



マイドライブ

自分が編集しているファイルが保存されています。

ドライブ内のファイルは検索をかけて探すことができます。

【共有】をクリックすると他の人とファイルを共有できます。



共有するユーザー名やアドレスを入力します。

共同編集ができる、閲覧のみなど共有の仕方も選べます。

共有ドライブ

メンバーの中でファイルを共有できます。



ドライブを共有したい相手のメールアドレスを入力することで、共通して使用できるようになります。

(12)-2 G Suite for Education の使い方 Google Classroom の使い方



かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

○最初の設定で教師を選ぶと、Classroom をつくることができます。

機能 実際の教室と同じように、先生が児童生徒に課題を出したり、採点した課題を返却できたりします。

使い方動画 <https://teachercenter.withgoogle.com/gettingstarted/week3>

登録されている Classroom を選びます。

Classroom を作ります。

The screenshot shows the Google Classroom home page. At the top, there are navigation tabs for 'ToDo', 'チェックが必要な課題', and 'カレンダー'. Below these are four main cards: '情報・視聴覚センター', 'カリキュラムセンター', '政策推進 共生・共育', and 'かわさきGIGAスクール 令和2年度'. Callout boxes point to these cards with the following text: '最初に表示されるホーム画面' (Home screen displayed first), '児童生徒への課題の投稿などを行う。' (Post assignments to students, etc.), and '生徒の追加などを行う。' (Add students, etc.).

The screenshot shows the Google Classroom class page for '情報・視聴覚センター'. The page has tabs for 'ストリーム', '授業', 'メンバー', and '採点'. Callout boxes provide details: 'クラスに参加するコードや、Meetのリンクが表示されます。' (Classroom codes and Meet links are displayed), '児童生徒同士がお知らせなどを投稿します。' (Students post notices, etc.), and '期限間近 提出期限の近い課題はありません' (Near deadline: No assignments with near deadlines). The page also shows a 'Meetのリンク' field and a 'ここでクラスとやり取りできます' (You can interact with the class here) section with options for creating notices and replying to student posts.

令和3年度 これだけはやってみよう

登校した児童生徒にメッセージを板書している先生をよく見かけます。これを端末を使ってやってみましょう。朝、来たら、児童生徒に Classroom を開かせ、お知らせがないかチェックさせましょう。板書と違って、先生も自分の好きなタイミングで書き込めるので便利です。また、朝のうちに係や実行委員、委員会のお知らせがあれば入力させ、朝の会でチェックするようにすると便利です。

(12)-3 G Suite for Education の使い方 Google ドキュメントの使い方



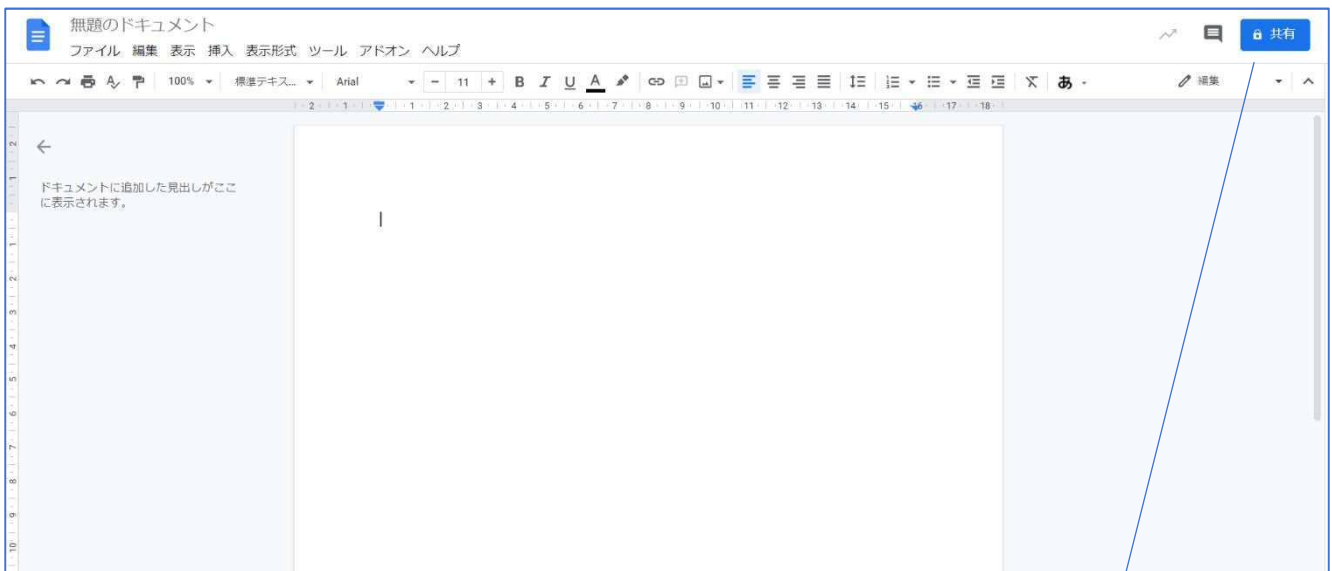
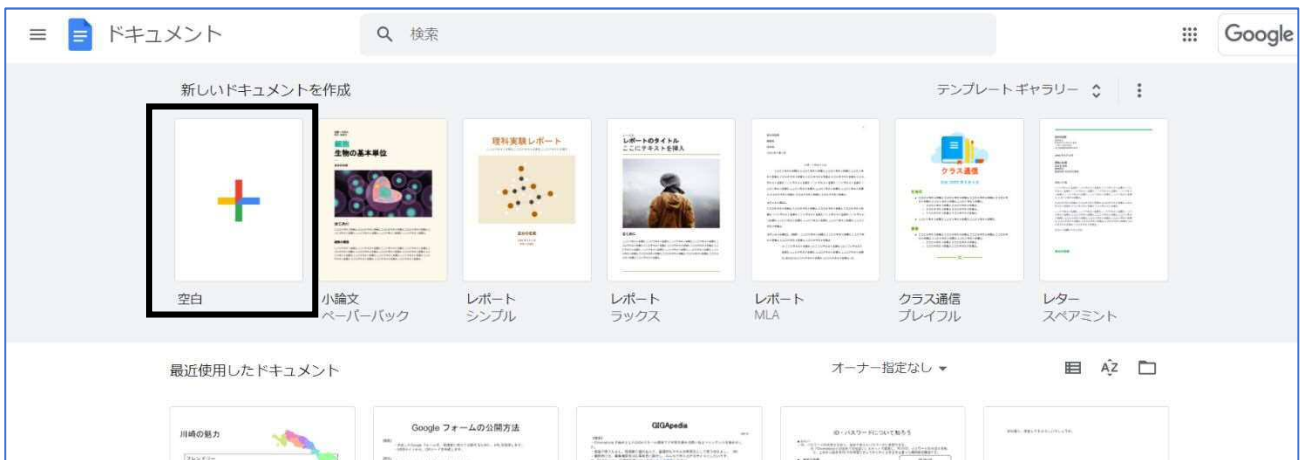
かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

○ドメイン外の人とファイルを共有することはできません。

機能 Google ドキュメントは、Wordに相当する文書作成アプリです。Word ファイルを組み込んで表示・編集することもできます。なお、作成した文書は、自動的に Google ドライブに保存されます。

使い方動画 <https://teachercenter.withgoogle.com/gettingstarted/week2>

テンプレートではなく、一から文書を作成するときは空白の+をタップします。



共有したい相手のアドレスやグループを追加することで、共同編集をすることができます。



(12)-4 G Suite for Education の使い方

Google スプレッドシートの使い方



かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

○ドメイン外の人とファイルを共有することはできません。

機能 Google スプレッドシートは、Excel に相当する表計算アプリで、フィルタや集計機能、グラフ、関数、マクロなどの機能を備え、他のユーザーとシートを共有して同時に編集することもできます。Excel ファイルを読み込んで編集することも可能です。作成したシートは自動的に Google ドライブのマイドライブに保存されます。

使い方動画 <https://teachercenter.withgoogle.com/gettingstarted/week6>



テンプレートではなく、一から表やグラフを作成するときは空白の+をタップします。



ここがすごい！ 表の数値を変えると、グラフも同時に変化します。

令和3年度はこれをやってみよう

フォームとも連携するので、アンケートの集計が簡単にできます。例えば学校アンケートを保護者にフォームで提出し、取り組んでもらうことで、即時的にアンケートを自動で集約できます。

(12)-5 G Suite for Education の使い方 Google スライドの使い方



かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

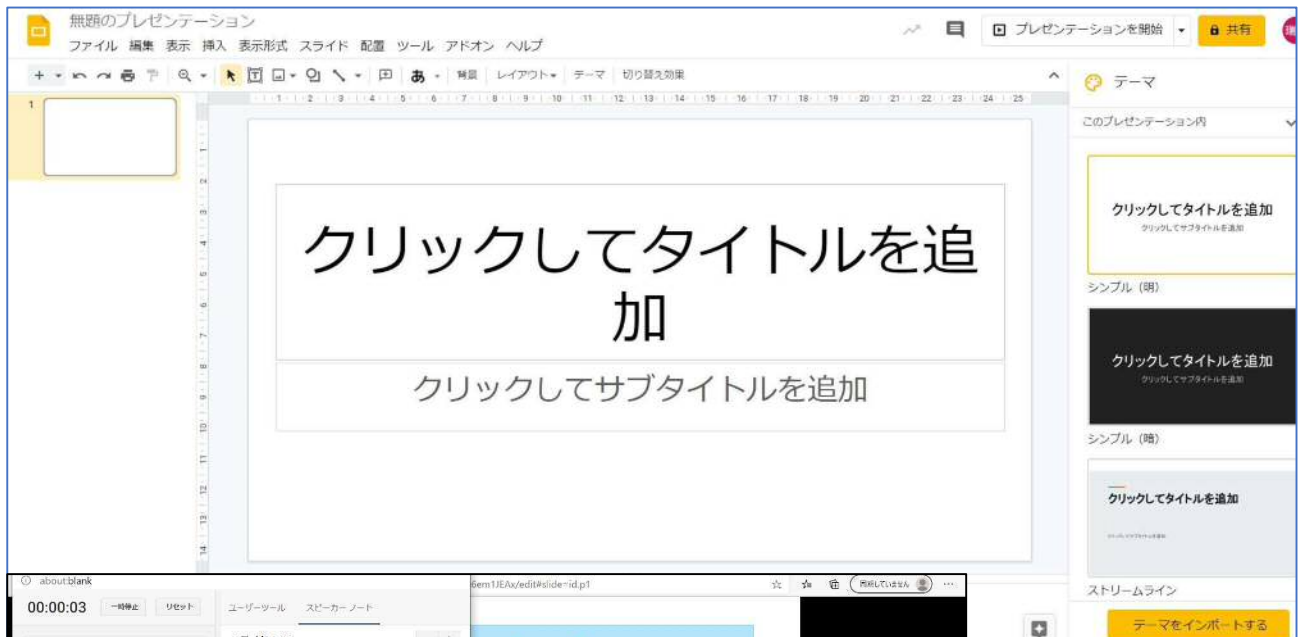
○ドメイン外の人とファイルを共有することはできません。

機能 Google スライドは PowerPoint に相当するプレゼンアプリです。プレゼン用の資料を作成したり、作成した資料を表示してプレゼンを実行したりする機能も用意されています。PowerPoint のファイルを読み込んで編集することも可能です。作成した資料は自動的に Google ドライブのマイドライブに保存されます。

使い方動画 <https://teachercenter.withgoogle.com/gettingstarted/week5>



テンプレートではなく、一から表やグラフを作成するときは空白の+をタップします。



PowerPoint で作った資料も編集でき、スライド画面に表示する際も発表者ビューを表示できるので、PowerPoint とほとんど同じ使い方ができます。

(12)-6 G Suite for Education の使い方 Google フォームの使い方



かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

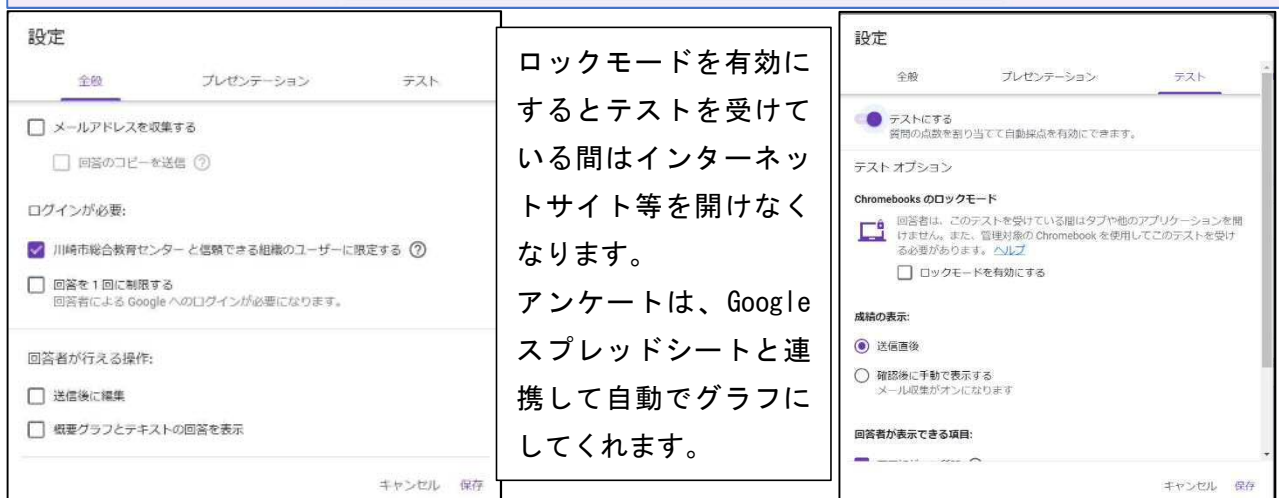
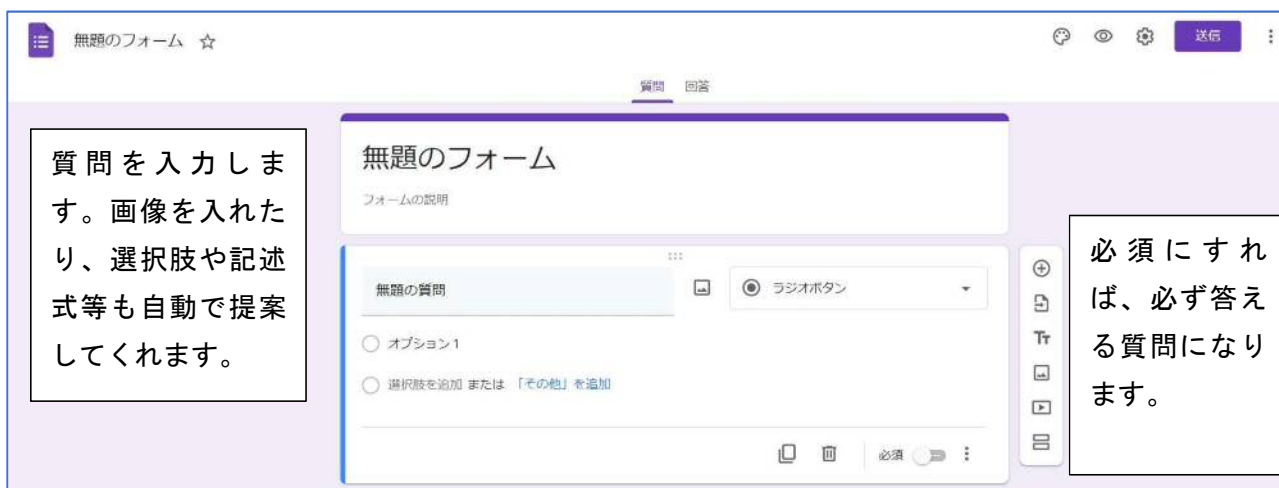
○ドメイン外の人（例えば保護者）にアンケートを取ることが可能です。

機能 Google フォームは、意見を集約・集計・可視化できます。

使い方動画 <https://teachercenter.withgoogle.com/gettingstarted/week4>



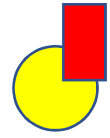
テンプレートではなく、一から表やグラフを作成するときは空白の+をタップします。



令和3年度これだけはやってみよう

学校アンケートをフォームで取り組んでみましょう。保護者に提示するときは、URL か URL を QR コードにすると便利です。

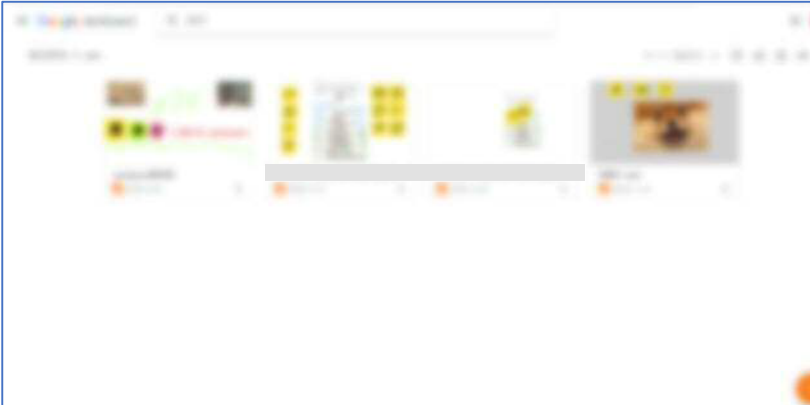
(12)-7 G Suite for Education の使い方 Google Jamboard の使い方



かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

○ドメイン外の人とファイルを共有することはできません。

機能 Google Jamboard は、描画や共同編集ができ対話型のキャンバスである、クラウド型ホワイトボードです。



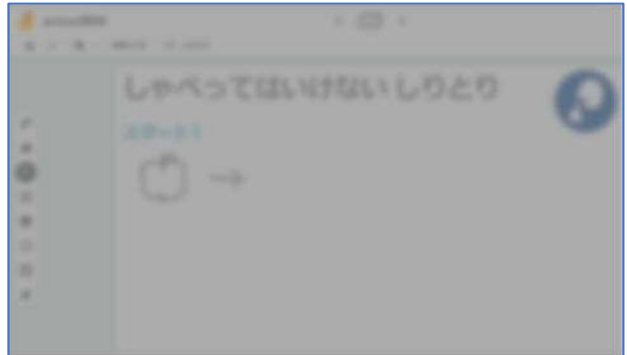
新しく Jamboard を使うときは、右下の + ボタンをタップします。

画像を貼ったり、直接書き込んだりできます。

付箋を用いて KJ 法で分類することもできます。



直接書き込むこともできます。



臨時休業時に取り組んだ学校もあります。

グループごとにページを分けて利用することもできます。他のグループの取組も共有されているので、グループ間でお互いの取組を参考にしながら学習できます。

(12)-8 G Suite for Education の使い方 Google Meet の使い方



かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

○ドメイン外の人とも Meet を活用することができます。

○オンライン指導のガイドラインに沿った運用をお願いします。保護者等、学校の外と利用する場合はセンターに届け出が必要です。校内での取組については学校で使用状況を把握してください。

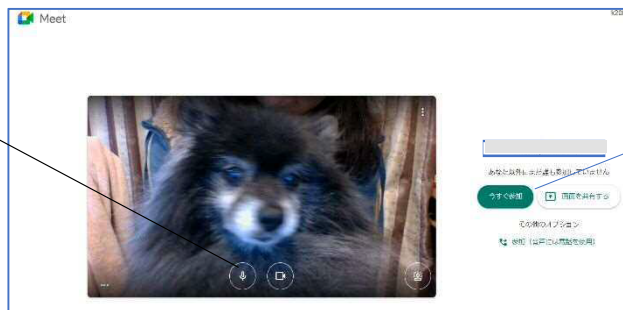
機能 Google Meet は、ビデオ会議アプリです。会議を区別する URL や ID が第三者に特定されないよう、25 種類の記号からなる 10 文字のコードで生成しています。Google にログインしていない匿名ユーザーの参加をブロックでき、すべての通信において暗号化されています。

ミーティングコードを生成します

Classroom から開催したり参加したりする方法 アプリから開催したり参加したりする方法

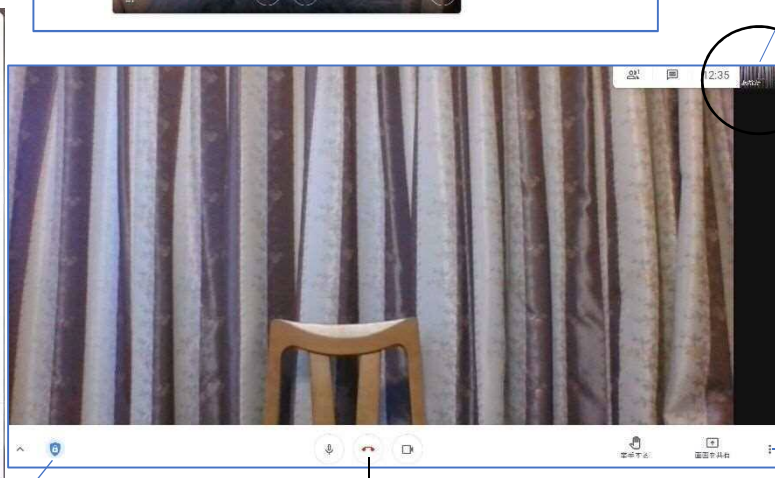


マイクはオフにして参加するほうがよいです。



今すぐ参加から参加をします。

自分はここに表示されます。



会議の詳細が表れ、設定の変更ができます。

終了するときはこちらをタップします。

画面を共有したり、挙手したりできます。

ホワイトボード、レイアウト変更、全画面表示、字幕機能などが使えるようになります。

(12)-9 G Suite for Education の使い方 Google カレンダーの使い方



かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

○カレンダーは基本的に他者と共有されています。子どもに見られてもよいことに限定して使用します。(「病院へ行く」など自分の個人的な予定は書きこみません。)

機能 時間管理アプリケーション。他の人とスケジュールを共有したり、会議の出欠の管理をしたり、Google の各種サービスと連携してスケジュール管理ができるツール。

余白をクリックすると、その時間に予定を入力します。

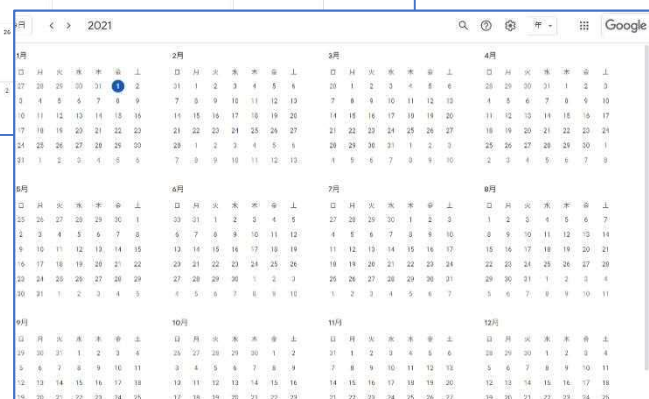
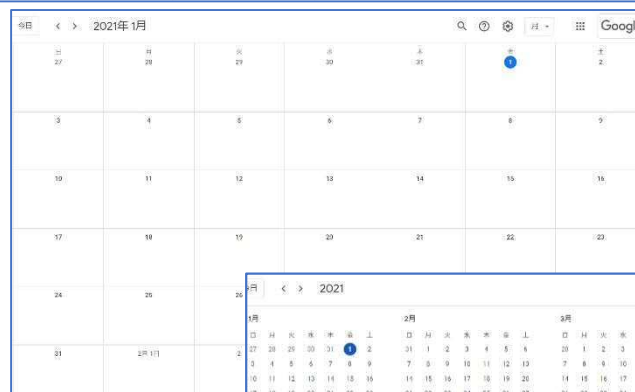
週や月など表示を変更できます。

○同じ予定の相手のカレンダーに予定を共有することができます。

○ビデオ会議を追加して、カレンダーから Meet にアクセスすることができます。

○場所を入力することで、地図を表示し、行き方を表示することができます。

○会議室を設定することで、特別教室の予約をすることができます。



(12)-10 G Suite for Education の使い方 Gmail の使い方



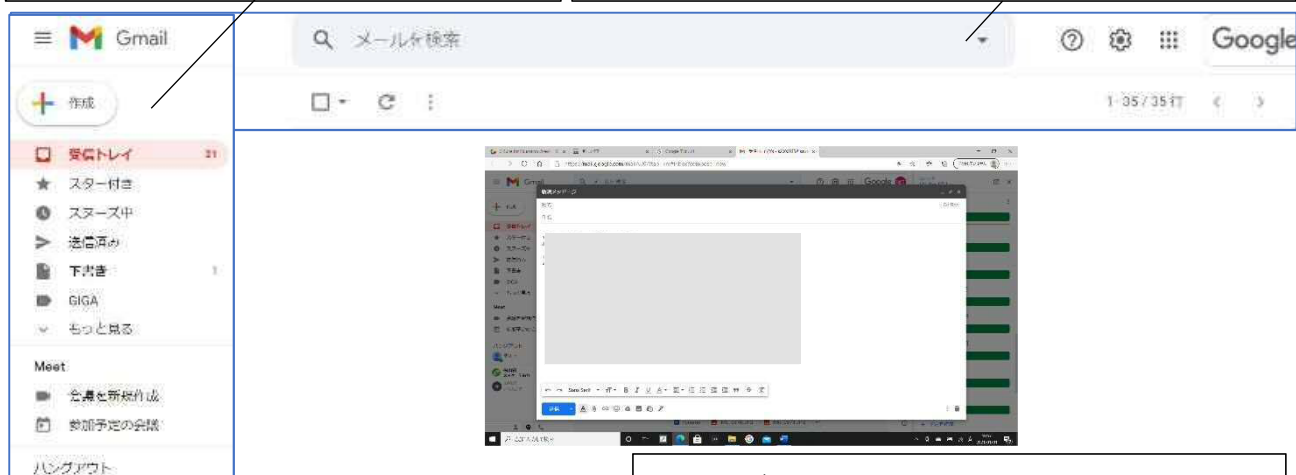
かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

- 児童生徒同士はメールを送りあうことができません。
- 先生はドメイン外の人ともメールをすることができます。
- 教員として業務に関わる内容のメールのみ送受信します。
- 個人情報等、機密性の高い情報は送信しません。
- 保護者への連絡や児童生徒への不必要なメールはしません。

機能 G Suite for Education のアカウントで利用する Google のメールアプリです。強力な迷惑メールフィルタ機能を持ち、送受信したメールは Google の検索機能で検索できます。

メールを作成したいとき、+を押します。すると、下のような画面が出てきます。

キーワードでメールを検索できます。(検索オプションでさらに詳しく検索できます)



添付ファイルや共有したファイルの URL、署名を付けたりできます。送信予約機能や情報保護モードなどの機能もあります。

スヌーズを設定したメールは設定時間になるとお知らせしてくれます。Google Meet と連携しています。下書きでの一旦保存や送信取り消し機能もあります。

コラム

「インターネット上のいじめについては、認知件数が増加している。SNS等を用いたいじめについては、外部から見えにくい・匿名性が高いなどの性質を有するため、そうした態様のいじめを学校が認知しきれていない可能性がある。しかし、そうした態様のいじめについても、学校として組織的に対処する必要があることは言うまでもなく、日頃から児童生徒の見守りや信頼関係などの構築等に努め、いじめを訴えやすい体制を整えることや、学校における情報モラル教育を推進していくことが重要である。」(文部科学省初等中等教育局「令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた対応の充実について(通知)」令和2年10月22日)

実際にこの Gmail を使い、やりとりをする際の言葉の使い方などについて考える授業をすることで、情報モラルについて実感を伴った理解ができると考えます。

(12)-11 G Suite for Education の使い方 Google チャットの使い方



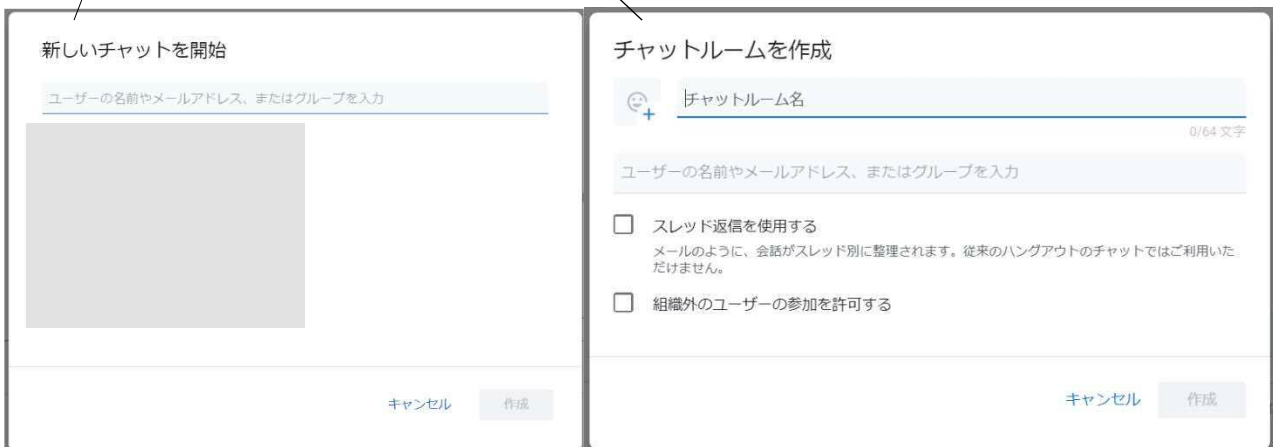
かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

- 児童生徒同士はチャットをすることができません。
- 業務で使用し、共有されてもよい内容には十分に気を付けます。
- 児童生徒と不必要なチャットはしません。

機能 対個人や対グループ間でメッセージのやりとりができるほか、資料の共有や Google Meet の開始もできます。



ドライブの資料を添付したり、Google Meet でつながったりできます。



学年等でチャットルームをつくってもよいですね。

コラム

文部科学省初等中等教育局「令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及びこれを踏まえた対応の充実について（通知）」（令和2年10月22日）にもある、ネットいじめの増加。実際にこのチャットを使い、やりとりをする際の言葉の使い方などについて考える授業をすることで、情報モラルについて実感を伴った理解ができると考えます。

(12)-12 G Suite for Education の使い方 YouTube の使い方



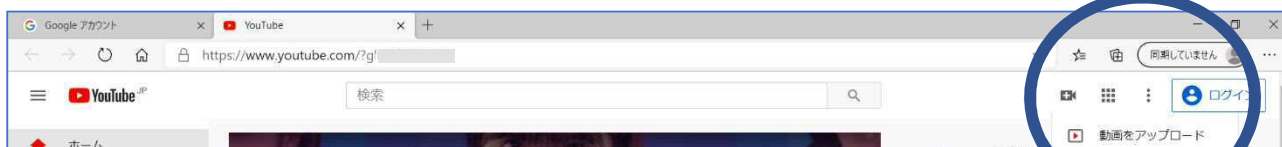
かわさき GIGA スクール構想 令和3年度の設定及び約束

- 児童生徒の端末にはフィルタリングがかかっているため、ホワイトリストにあるものしか見ることができません。動画をアップすることはできません。
- 研修を目的とした動画は限定公開であってもアップすることはできません。
- 研修以外の目的で動画をアップするときは、「教育のオンライン利用に伴う情報セキュリティに関するガイドライン」に沿った運用をし、肖像権、著作権、個人情報に配慮し、限定公開とします。
- 動画を保護者等、学校外にアップする際には、センターに届出ます。

機能 動画を見たり、公開したりすることができます。

《動画のアップ方法》

- ①学校代表アカウントでログインします。
- ②ランチャーの左、カメラのマークをタップすると動画をアップロードという表示が出るのでタップ。



- ③チャンネルを作成する方法を選びます（左側、学校名を使います）。



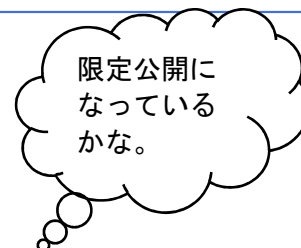
- ④動画をアップロードします。 ドラッグ&ドロップ



⑤設定をします。必ず限定公開にします。



⑥アップした動画を確認します。



(13) ミライシードの使い方

1. ミライシードとは

ミライシードは、1人1台環境に最適なオールインワンのソフトウェアです。個別最適学習での基礎学力の向上支援から、「主体的・対話的で深い学び」における授業中の支援、それら学習データの蓄積まで一括でお使い頂けるソフトウェアとなっています。

(ミライシード 先生用トップページ)



ソフト名	主な機能
オクリンク	1人ひとりが考えやアイデアを表現する活動を支援する授業支援ソフトです。シンプルな機能と直感的な操作性で、小学校1年生からでも取り組める使いやすさを実現しています。先生や子ども同士で、やり取りを行うことも可能です。
ドリルパーク	Chromebook上で取り組むことができるデジタルドリルです。基礎基本の定着から応用問題まで、自動採点などデジタルの特性で効率よく学習を進め、学習意欲を促す工夫もあり、積極的に取り組むことができます。
ふりかえり・カルテ	子どもたちがドリルパーク、オクリンクで取り組んだ学習履歴を蓄積することができる場所です。評価時の参考として活用することも可能です。
R-PDCA	アンケート結果を元に、客観的なデータから子どもたちの現状把握を行うことができます。授業で伸ばしたい力の実現に向けたサポートを行います。
ミライシードファンサイト	ミライシードの操作方法やオススメの活用場面を掲載しているWebサイトです。先生方がミライシードを活用するにあたり、抱える不安やお悩みに応える総合情報サイトとなっておりますので、ぜひご活用ください。

ミライシードお問い合わせ先 [REDACTED] 00分～17時00分 お盆期間、年末年始を除く

2. オクリンクの使い方

2-1 授業準備



オクリンク

【先生画面】

1 授業する時間を選択



2 授業する教科を選択



3 [ボード名称]は「編集」から変更 単元は ▼ から登録可 [スタート]で開始



【子供画面】

1 参加する授業を選択



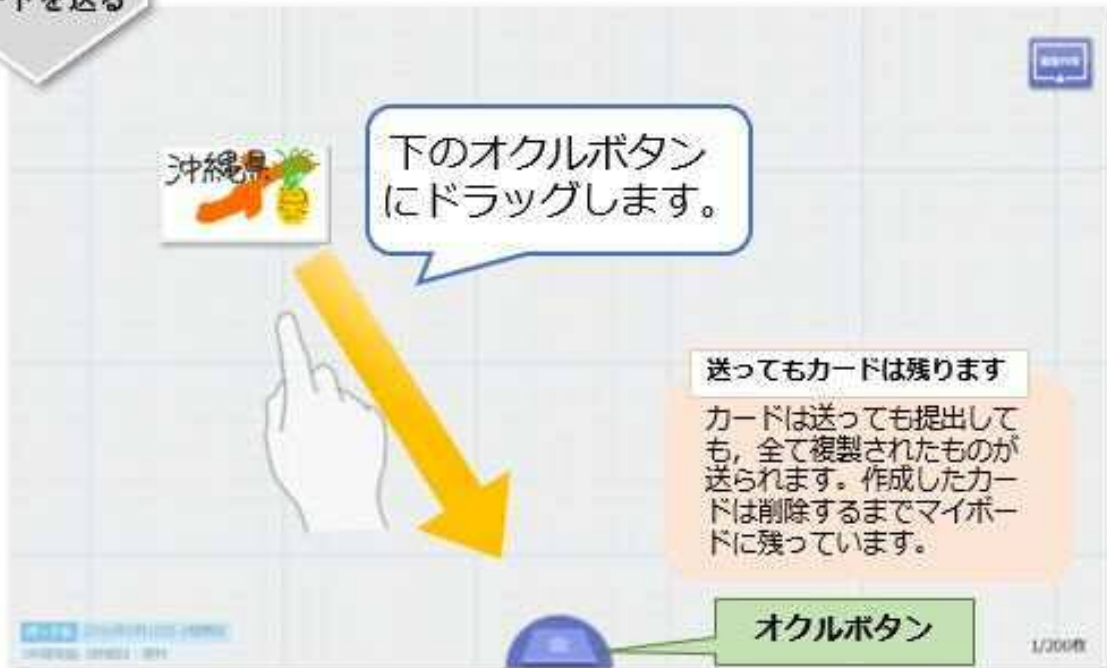
授業を作成してからログイン

先生があらかじめ授業を作成しておいた状態で子供たちがログインすると、参加する授業が表示されます。あらかじめ授業を作成しなくても、全員が同じ日の同じ時間にログインすれば授業を共有する事が出来ます。

2-2 カード作成



2-3
カードを送る



2-4
カードを受信

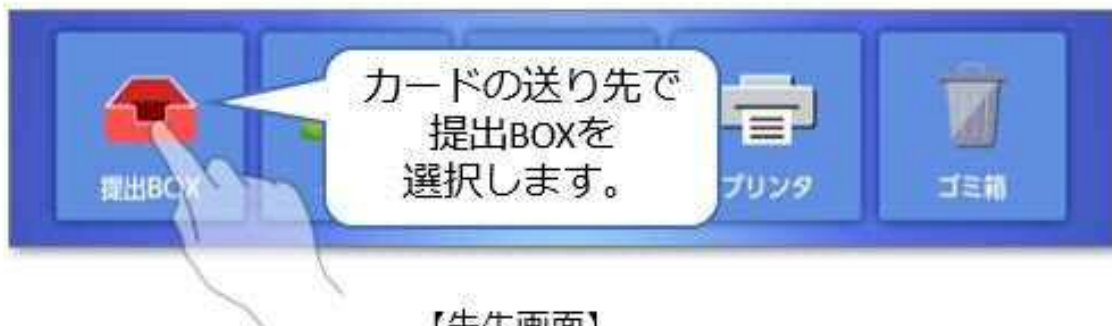


2-5
提出BOX

▶ 提出BOX編



【子供画面】



【先生画面】



3-3 宿題配信

1 宿題配信画面を開く



1 宿題配信画面を表示する

教師用メニューの「宿題配信」をタップして、宿題配信画面へ進みます。

2 配信先を設定する

一斉配信の場合



配信するクラスを選びます。

配信するクラスを選ぶ

配信するクラスをタップして、選択してください。
* 複数のクラスに配信することができます。

選択が終わったら、「OK」をタップしてドリル選択画面に進みます。

個別配信の場合



配信する子供を選びます。

クラスを選びます。

配信するクラス・子供を選ぶ

配信したい子供のいるクラスを右上から選択してください。

子供が表示されますので、配信したい子供をタップして、選択してください。

* 複数の子供に配信することができます。
* 複数のクラスの子供に配信することはできません。

選択が終わったら、「OK」をタップしてドリル選択画面に進みます。

3 配信したいドリルを選択する

選択が配信BOXに表示されます。「見る」から問題を確認できます。



選択したドリルは「選択中」になります。

配信するドリルを選択します。

1 配信したいドリルを選択する

配信したいドリルについて「配信選択」をタップしてください。

ドリルの問題を確認する場合は「見る」をタップしてください。(3に進みます。)

他の教科・ドリルなどを選ぶ際は右上の「戻る」をタップしてください。

なお、漢字ドリル「一字なぞり」は、ブラウザ版では非対応です。配信しても、出題されません。

4. ミライシードファンサイトの紹介

ミライシードファンサイトは、先生方のミライシードの効果的な活用を支援するサイトです。授業内外での活用事例からイベントの紹介、機能改定のお知らせまで、ミライシードをより効果的に活用頂けるための豊富なコンテンツを紹介しています。

【コンテンツの紹介】

コンテンツ名	内容
使い方のヒント	ミライシードを初めてお使いの先生方にオススメのミライシードの活用法を紹介しています。イラストを見ながら、直感的に活用の効果や利用シーンが分かります。「どの場面で使おうかな？」と迷ったらぜひ見てみてください。G suite for Education の Google Meet や Google ドライブと組み合わせた授業の実現方法も掲載しています。
アプリの操作	ミライシード内ドリルパーク・オクリンクの基本操作の方法を紹介した動画集です。動画に沿って進めていくだけで、基本的な操作方法が身につきます。過去に開催した Web セミナーの動画もこちらから見ることができます。
活用事例	全国の学校で実践してきた多数の事例からオススメをピックアップして紹介しています。具体的な単元、授業場面での使われ方を知りたい！というときにオススメのページです。
よくあるご質問	ミライシードを活用される先生方からよく頂く質問を、アプリ別の Q&A 形式でまとめました。ミライシードを使っていて困ったときにご確認ください。

■ 初期設定や校内研修実施、困り解決に役立つ!

ミライシードファンサイトに

**ご登録
ください!**



スマートフォンから
今すぐアクセス!

ミライシード ファンサイト 🔍

<https://miraiseedfansite.benesse.ne.jp/index.html>



(14)-1 情報モラルについて(教職員)

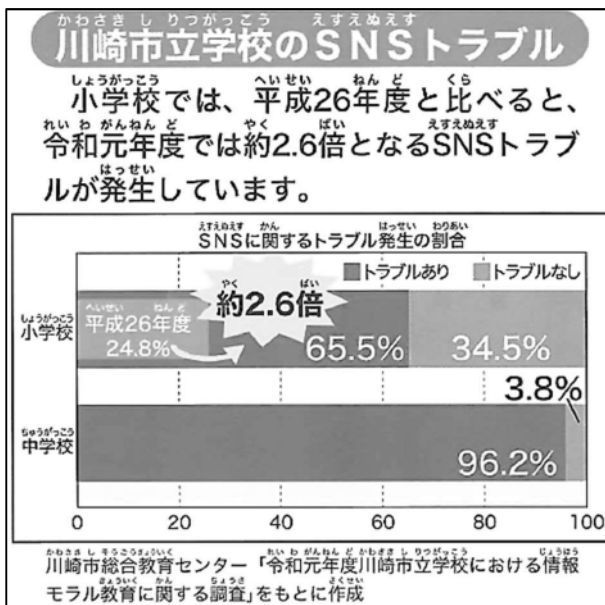


1. 「情報モラル教育」の基本的な考え方と学習指導要領

携帯電話・スマートフォンやSNSが子どもたちに急速に普及しています。本市小学校5年生は10人中約7人、中学校2年生は10人中約9人の割合で自分専用の携帯電話やスマートフォンを持っています。(※令和元年度市学習状況調査)

近年、各学校でのトラブルも増加している状況からも児童生徒が自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつとともに、犯罪被害を含む危険を回避し、情報を正しく安全に利用できるようになるために、かわさき GIGA スクール構想のもとでの各学校における情報モラル教育は極めて重要です。

「情報モラル」については、学習指導要領(小・中・高・特)の第1章の総則においては、次のように位置付けられています。情報活用能力は、各教科等の学習の基盤となる資質・能力です。



「言語能力、情報活用能力(「情報モラル」を含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力」



また、学習指導要領解説では、「情報モラル」は、次のように示されています。

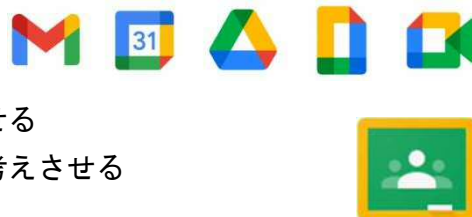
「情報社会で適切な活動を行う基になる考え方と態度」であり、(中略)具体的には、他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことや、犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解すること。

2. 「情報モラル教育」と学習指導要領における学習活動

学習指導要領解説では、次のような学習活動を通して、「情報モラル」を確実に身に付けさせることが重要であると示されています。なお、各教科等において「情報の収集、判断、処理、発信など情報を活用する各場面での情報モラルについて学習させること」が重要です。

- ・ 情報発信による他人や社会への影響について考えさせる
- ・ ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味について考えさせる
- ・ 情報には自他の権利があることを考えさせる
- ・ 情報には誤ったものや危険なものがあることを考えさせる
- ・ 情報セキュリティの重要性とその具体的対策について考えさせる
- ・ 健康を害するような行動について考えさせる

G Suite For Education



3. かわさき GIGA スクール構想における「情報モラル教育」

従来の情報モラルの指導は、学校外でのトラブル対応が多く学校生活や学習活動等では機会を捉えて指導が難しいものでした。しかし、これからは1人1台端末を活用した対話的な学びやオンライン上でのコメント発表、機器の取扱いや健康への影響等について、各教科等の授業でリアルタイムに直接端末に触れる機会に直面し、トラブル発生時には直ちに必然性のある具体的な情報モラル教育の指導が可能になります。

すぐに指導可能



例えば、Chromebook のカメラ機能を利用した時、Google クラウドにデータを保存した時に、「インターネット上に発信された情報は基本的には広く公開される可能性がある」、「どこかに記録が残り完全に消し去ることはできない」といった、「情報や情報技術の特性」についての理解に基づいた情報モラルを身に付けさせることで、授業だけではなく、社会に出た時に、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応し、状況に応じて判断する力の育成をすることも可能となります。



「インターネットの特性」の理解が重要!

かわさき GIGA スクール構想は、未来社会の担い手を育むことが目的であり、キーワードは「つながる」です。既習事項や他教科、他者との「つながり」を広げ、深めた学習を進めるために「情報や情報技術の特性」の理解に基づいた情報モラル教育を進めてください。

4. 「情報モラル教育」ステップ0（ゼロ）とは？



(1) トラブルが起きるのは、ICT やインターネットやクラウドのせい？

1人1台端末の学習を進めていくにあたり、「カメラ機能を使ったり、クラウド上にデジタルデータを記録したり、そんなことをさせたら児童生徒が問題を起すのではないか！」「カメラ機能を使った学習をすると隠れて撮影してトラブルのもとになってしまうのではないか！」「クラウド上に記録を残したらトラブルの温床になる！記録も残ってしまうし情報が広まって問題が大きくなってしまわないか！」といった声も聞こえてきそうです。もしそのようなトラブルが起こったとすると、ICT やインターネットやクラウドが悪いのでしょうか…。ICT やインターネット等のせいではありませんよね。

かわさき GIGA スクール構想では、学校の ICT 環境は劇的に変わっても、「主体的・対話的で深い学び」や個に応じたきめ細やかな学びなど、これまで教育実践で大切にしてきたことは何も変わらずに、ICT をベストミックスさせることで、さらに授業改善を図ることができ、新しい教育が創造できます。これまでの児童生徒指導や学習規律等もあわせて「情報モラル」も少しずつ、一つずつ、学習の一場面一場面で粘り強く指導していく中で、徐々に育まれていきます。様々な学習場面等で、児童生徒は失敗を重ねつつ、先生方の指導により自己を律しつつ成長し、未来社会の担い手に一步一步近づいていきます。

(2) 「情報モラル」ステップ0（ゼロ）とは？

最低限必要な指導としては、次の内容が考えられます。

- ①「ID・パスワード管理等」の情報セキュリティ
- ②「写真・動画撮影」に伴う公開性、記録性等の情報社会の特性（インターネットの特性・仕組み）理解
- ③「ネット検索」等の情報リテラシー、「情報の伝わり方」

※各学校の実態に応じて、その他、発展的に指導する内容については前述の2. 「情報モラル教育」と学習指導要領における学習活動を参考にしてください。

1人1台端末だからこそ

必要な情報モラル教育の例

GIGAスクール構想の実現のため、児童生徒に身に付けさせるべき資質・能力は

アカウントを管理する知識・技能の習得

- ①自分のユーザIDを知っている
- ②自分のパスワードを知っている
- ③自分のユーザIDとパスワードをログイン画面で入力ができる
- ④自分のユーザIDとパスワードを人に教えない



※発達段階に応じたアカウントの習得が必要

※発達の段階に応じたアカウントの学習が必要

(14)-2 情報モラルについて(子ども)



1. IDとパスワードの大切さを教える

(1) IDとパスワードについて

IDとパスワードは大切な個人情報です。その大切さを、児童生徒に教えることが情報モラル教育「ステップ0（ゼロ）」のスタートです。情報セキュリティ意識の向上にもつながります。指導するにあたり、児童生徒が理解できるような具体例をもとに考えさせることが大切です。



(2) いつ、どのように指導をする？

Chromebook を利用するときには、毎回「ログイン」（認証）するためのパスワード（IDは初回のみ）の入力が必要です。大切さの指導を受けていない児童生徒は、もしかするとパスワードを友達に安易に教えてしまうこと等が考えられます。しかし、1人1台端末であれば、毎回、IDとパスワードを入力しますので、指導はいつでも可能です。

Google for Education を初めて利用するときには、「利用規約（約款）」への同意が必要です。その際には、必ず次のことを児童生徒の発達段階に応じて指導する必要があります。



【小学校高学年～中学校向け】

サービスを利用するときには「利用規約（約款）」に同意する必要があります。本来は、全て読んだ上で、本人が同意するべきものですが、今回は皆さんの代わりに川崎市教育委員会があらかじめ同意していますので、そのまま進んでください。内容としては、教育機関である学校は、G Suite アカウントを無償で利用できることや、利用のルールを守ること等が記載してあります。

IDとパスワードの大切さを教える時には、次のような「具体的な例え話」も有効です。

【小学校高学年～中学校向け】

「家に鍵をかけない」という人はいますか？ほとんどの家では、鍵をかけて、外からの侵入を防ぎ、持ち物やプライバシーを守ることで、安心安全な生活を送れるよう備えているはずですが。インターネットでは、接続をし、電子メールの送受信、ゲームの対戦、SNS を利用する等の際には、通常、IDとパスワードを入力してログイン（認証）します。このIDとパスワードは、例えると家の住所と鍵にあたるものです。ID（＝住所）は必要な相手にしか教えません。パスワード（＝鍵）は誰にも渡しません。パスワードは、家の鍵と同様に大切に管理するようにします。この2つは大切に守るべきものなのです。

さらには、発達段階に応じて、次のようなことを教えることも考えられます。

【小学校高学年～中学校向け】

友達のIDとパスワードで勝手にゲームや SNS にログインする光景をみたことがありますか。これは、「不正アクセス禁止法違反」という罪にあたります。実際に、ネット上で知り合った人のIDとパスワードを聞き出し、勝手にログインしたことで小学生が補導されるという事件も発生しています。他人の家に入り込むのと同じように、他人のパスワードを使ってログインするだけでも犯罪になることを覚えておきましょう。



情報モラルの指導はタイミングが大切。児童生徒一人一人にアカウントを配付する時が、まず初めのチャンスです。また、情報モラルの指導の参考となる資料は、国からも多く発行されています。（※巻末参照）先生方の工夫によって、「ステップ0（ゼロ）」の教育をより効果的に取り組むことが可能です。

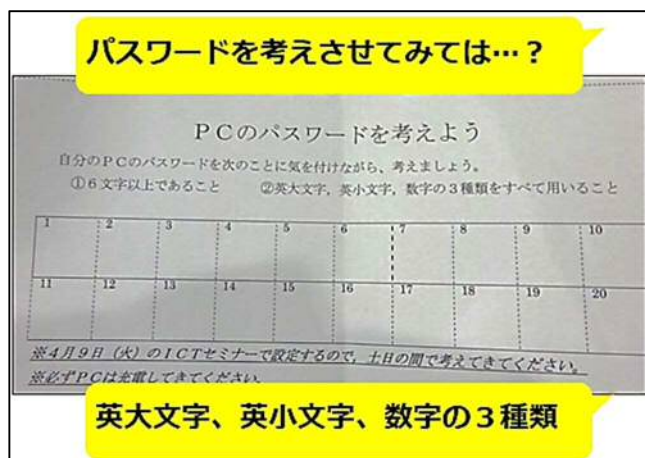
2. IDとパスワードの大切さ【具体的な指導例】

【川崎高等学校附属中学校の例】

川崎高等学校附属中学校（以下、「附属中学校」）では、BYOD（Bring Your Own Device：家庭で個人が購入した端末を学習に使うこと）を実施している学校です。附属中学校では、IDとパスワードの大切さを生徒に初日に伝えるとともに、パスワードを自分自身で考えさせる実践を毎年行っています。

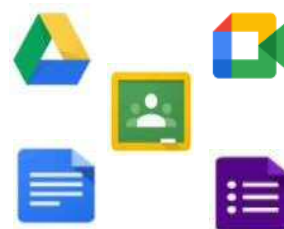
パスワードを考えさせる際には、他人に知られないための工夫として、英大文字、英小文字、数字の3種類を使用して作成するコツも伝えています。

パスワードを自分自身で考えさせることで、自分事として大切さを実感することにつながっています。また、「IDとパスワード」を組み合わせた1つのセットが「アカウント」であることも学ばせていました。



3. 「写真・動画撮影」「書き込み」に伴う公開性、記録性等の情報社会の特性（インターネットの特性・仕組み）の理解

前述している通り、「インターネット上に発信された情報は基本的に G Suite For Education は広く公開される可能性がある」、「どこかに記録が残り完全に消し去ることはできない」といった、「情報や情報技術の特性」についての情報の科学的理解に基づく情報モラルを理解させるとともに、カメラ機能を使う場面のルール作りも大切になってきます。カメラ機能の利用については、例えば、小学校低学年のうちには「先生が許可した時だけ、写真・動画を撮る」という段階から、中学生になれば徐々に「自らの判断のもとに必要に応じて写真・動画に記録を残し、学習に活用する」段階にステップアップさせていくことが大切です。誹謗中傷は、日常的なモラルとしては絶対に許されないことであり、インターネット上に誹謗中傷を書き込むことも同様に、記録が残ることによるインターネットの特性・仕組みから大きなトラブルにつながることも教える必要等があります。



また、指導をするときには、ルールや具体的指導事例等を、児童生徒の自分事にするためにも、「～はダメ」、「～は禁止」というよりは、「～はなぜ失敗してしまったのだろうか…」、「～すればよかったのでは…」と考えさせ、自ら判断をさせることも大切です。もし、児童生徒に不適切な行動があった時には、「この場合、自分だったらどうすればよかったのか、どう行動するのか」を考えさせることは、児童生徒には自分事として指導をするために有効です。



4. 「ネット検索」等の情報リテラシー、「情報の伝わり方」の指導

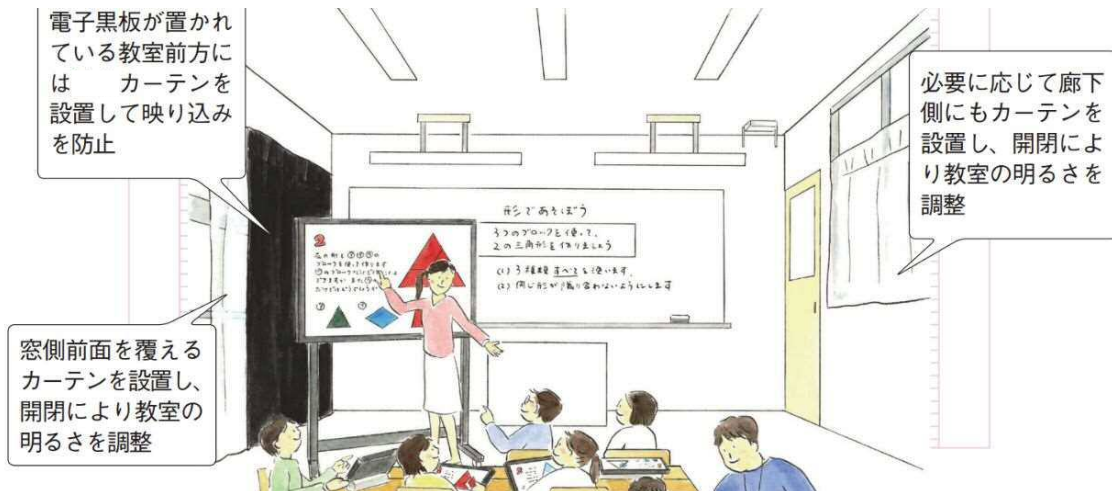
「ネット検索」による「信憑性」について、インターネット上には誰でも情報を発信できるので、信用できない情報も多く、情報を取得する際には、正しいかどうかを必ず確かめなければならないという感覚を身に付けさせることが重要です。コミュニケーションを行う相手個人の確認方法だけでなく、セキュリティの意味から信頼できるサイトであることの確認方法を身に付けさせることも必要です。

(15) 健康に配慮した端末の使い方

1. 教室の明るさ

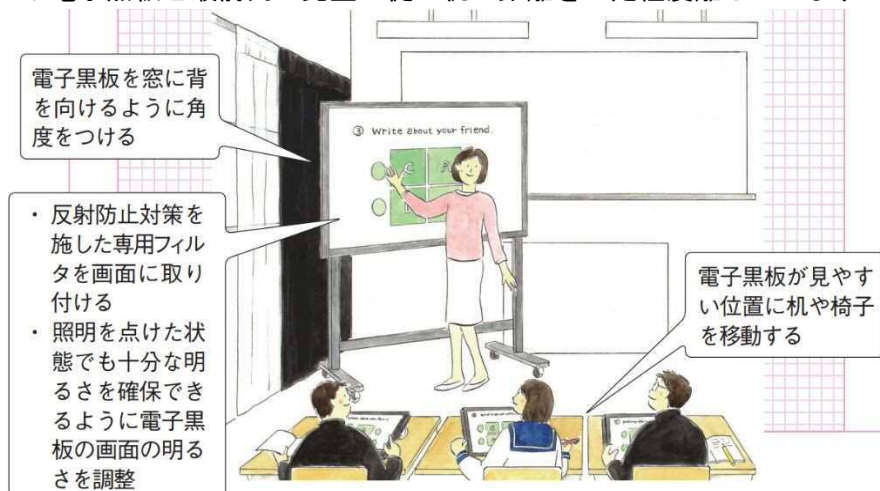
確認しましょう。

- カーテンで教室内の明るさを調節できるようにしていますか。
- 光が大型テレビの画面へ映り込む場合は、カーテンを閉めていますか。
- 児童生徒自身が自らの判断でカーテンを開け閉めして、明るさの調整ができるように指導していますか。
- 照明を点けていますか。(状況に応じて大型テレビ付近の照明を消し、光の反射を軽減する)



2. 大型テレビ

- 大型テレビを窓に背を向けるように角度をつける等して配置に配慮していますか。
- 児童生徒に、大型テレビが見やすい位置に机や椅子を移動するよう促していますか。
- 照明を点けた状態でも十分な明るさを確保できるように、大型テレビの画面の明るさを調整していますか。
- 明るい背景に濃い文字で表示するポジティブ表示をしていますか。
- 教室の最後部に座る児童生徒にも見やすいように、大型テレビに表示する文字の大きさに配慮していますか。
- 大型テレビや電子黒板と最前列の児童生徒の机の距離を一定程度離していますか。



3. GIGA 端末

- 児童生徒の姿勢がよくなるように指導していますか。
- 授業の進行に応じて、利用しない教材・教具を随時片付けるように指導していますか。
- 視線と GIGA 端末の画面が直交するように、児童生徒に GIGA 端末の角度を調節するよう指導していますか。
- GIGA 端末の画面に照明が反射してしまう場合は、画面の角度を調整して照明が反射しないように指導していますか。
- 児童生徒自身で画面の明るさを設定して画面を見やすくできるよう指導していますか。
- 児童生徒が長時間 GIGA 端末を注視したり、同じ姿勢を続けないように工夫したりしていますか。



図：文部科学省「児童生徒の健康に留意して ICT を活用するためのガイドブック」2018